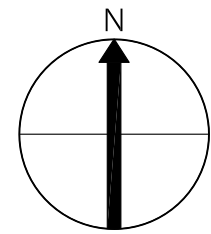


■附近見取図 S 1:2500



後0_図面リスト・附近見取図.DWG 2024/03/29

建築工事仕様書

I 工事概要

1	工 事 場 所	守山市吉身二丁目地先
2	地 域 地 区	都市計画区域（ ☉ 内 ・ 外 ） 用途地域等 （ 市街化区域 近隣商業地域 ）
3	敷 地 面 積	17,447.56 m ²
4	建 物 用 途	(08490) 自動車車庫、(08520) 倉庫兼を営まない倉庫

5 棟別概要

No	建築物名稱	建築種別	構造	階數	床面積 (㎡)	工事概要
1	守山市庁舎車庫棟	新築	S造	1	276.25㎡	
2	喫煙所	新築	S造	1	6.17㎡	
3						
4						
5						
6						
合 計					282.42㎡	

Ⅱ 工事仕様

- 1 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和 4 年版（令和 4 年 3 月改定）」（以下「標準仕様書」という）による。ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和 4 年版（令和 4 年 3 月改定）」（以下「改修標準仕様書」という）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和 4 年版）」（以下「解体共通仕様書」という）による。
- 2 特記事項
- (1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は ○印を適用する。
- 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。
- 印と ● 印のある場合はともに適用する。
- (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。

章	項	目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	①	適用基準等	* 建築工事標準詳細図（令和 4 年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集（第4版） 公共住宅事業者等連絡協議会監修 * 工事写真の撮り方（改訂第3版）建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	②	契約図書類とその優先順位	次の(ア)から(オ)の「契約図書類」は互いに補完する。ただし、契約図書類間に相違がある場合の適用の優先順位は、(ア)から(オ)の順番のとおりとする。 (ア)質問回答書 (イ)現場説明書 (ウ)特記仕様書 (エ)実施設計図 (オ)標準仕様書
	③	材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、J I S 及び J A S マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)～5)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)～5)を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和 3 年版)」及び「同設備機材等評価名簿(令和 3 年版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

④

特別な材料の工法及び製品

5

電気保安技術者
(1.3.3)

6

発生材の処理等
(1.3.11)

⑦

交通安全管理
(1.3.8)

8

技 能 士
(1.5.2)

9

化学物質の濃度測定
(1.5.9)

⑩

工 事 写 真

⑪

完成図及び
マイクロフィルム

⑫

保全に関する資料
(1.7.3)

特 記 事 項

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。

工事現場におく電気保安技術者は、監督職員の指示に従い、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

・ 引き渡しを要するもの
()

・ 現場において再利用を図るもの
()

産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による

項 目	品 目	搬 出 場 所	距 離	処分費	備 考
特定建	無筋コンクリート				
設資材	鉄筋コンクリート				
	アスファルト混合物				
特別管					
理産業					
廃棄物					
その他					

・ 搬出場所は認可を受けた処理場とする。

以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。配置する位置は別に図示する。

名 称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B	80人	外構施工時
交通整理員		

(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。

技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的な活用に努めること。

下記により測定し、その結果を監督職員に報告する。
測定化学物質名：
・ ホルムアルデヒド ・ トルエン ・ キシレン ・ エチルベンゼン ・ スチレン ・ パラジクロロベンゼン
測定方法：
・ 営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領
・ 学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領
・ 住宅性能表示制度に基づく測定方法
(ただし書きによる測定方法を含む)
測定箇所：
測定対象室：

下記のものを提出する。
仕様は、建築工事写真取扱要領による。

区 分	分 類	サイズ (mm)	提出部数
工 事 中 (着工前含む)	＊ カラー	＊ 80×120 程度	1 部
完 成	＊ カラー	外部全景 ＊120×170 程度 ・ 80×120 程度 その他 ＊ 80×120 程度	2 部
	フィルムカメラを使用する場合は、完成写真のネガフィルムをカラーベタ焼き又はインデックスプリントとともに提出する。		1 部
	デジタルカメラを使用する場合は、工事写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1 部

＊写真及びフィルムは、市販のJIS A判の工事用アルバムにて製本し、提出する。

下記のものを、完成後15日以内に提出する。
仕様は建築工事完成図取扱要領による。

	品 名 ・ 仕 様	提出部数
＊ 原図 (設計原図の訂正でもよい)		1 部
＊ 竣工図		
＊ 製本サイズ (○ A3縮小版 ○ 原図サイズ) 白焼		2 部
表装 (＊ レザック表紙 (ラミネート仕上) ○ 黒表紙金文字入り)		
＊ 施工図 (構造躯体図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面)		
＊ 製本サイズ (○ A3縮小版 ○ 原図サイズ) 白焼		1 部
表装 (＊ レザック表紙 (ラミネート仕上) ○ 黒表紙金文字入り)		
＊ 電子データ (画像データ、CADデータ) (CD-R等)		1 部
＊ マイクロフィルム (島根県マイクロフィルム仕様書による)		

設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、守山市にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。

書 類 名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書 (電子データ共 (CD-R等)) (建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	
機器取扱い説明書	1 部
機器取扱い説明書	
官公署等届出書類	
その他監督職員が指示するもの	

章	項目	特記事項
13	特定元方事業者の指名	下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。 ○ 本工事の受注者 ・ 関連他工事の受注者（ ）
14	現場代理人等	イ 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。ただし、工事準備等を含め工事現場が不稼働である期間が常駐の必要はないが、現場の保全を行い、緊急時の対応を速やかにとれる体制を確保すること。 ロ 現場代理人は、監督員に受注者との直接的な雇用関係の確認できるもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付しなければならない。また、変更が生じた場合は速やかに「現場代理人等変更届」を提出し同様の確認を受けなければならない。 ハ 主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。 ニ 現場代理人と主任技術者、または監理技術者を兼ねることができる。 ホ 主任技術者または監理技術者の専任を要しない期間 1 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資器材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。 2 工事請負契約書（以下「契約書」という）第28条第1項の規定に基づく完了した旨の報告を受け、完了確認した翌日から契約期間満了まで期間については、主任技術者、監理技術者の工事現場への専任を要しない。
15	技術監理	○受注者は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術監理にあたせらるること。 また建設工事公衆災害防止対策要綱を遵守すること。 ○監理技術者、主任技術者 請負人は専任として建設業法に定める技術者を任命し、現場に派遣し技術監理に当たると共に設備工事その他の関連工事について、その施工者と綿密な連絡をとり、全工事に支障のないよう施工すること。
16	実施工程表 その優先順位	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、発注者に提出するとともに、監理者の承認を受けること。 施工条件と設計条件の不一致、工事内容の変更等により、実施工程表を変更する必要がある場合は、施工条件に支障がないよう、実施工程表を直ちに変更し、当該部分の施工に先立ち、発注者に提出するとともに、監理者の承認を受けること。
17	施工図及び 施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作権に関わる当該建物における使用権は発注者に委譲するものとする。
18	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区区分32 基準風速 V0(m/s) ・ 30 ③2 ・ 34 地表面粗土区分 ・ I ・ II ④Ⅲ ・ Ⅳ 積雪荷重 一般地域30cm
19	下請業者・機材等の選定	<u>工事の施工等に関し、下請施工を必要とする場合および施工に必要な各種の資材等の購入については、可能限り守山市内に本社・本店を有する者の中から選定すること。</u>
20	工事図面	請負人は工事着手に先立ち、設計図面一式図面を製本（A3二折×3）し監督職員に提出すること。
21	工事カルテの作成 登録	請負人は、工事請負代金500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（GORINS）入システムに基づき、「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けた後、財団法人日本情報総合センター（JACIC）に提出するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出しなければならない。 提出の期限は、以下のとおりとする。 （1）受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。 （2）完了時登録データの提出期限は、工事完成後10日以内とする。 （2,500万円未満は不要） （3）受注登録内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行うこと。（2,500万円未満は不要）
22	化学物質を放散する 建築材料等	1. ホルムアルデヒドの規制対象となる建築材料と使用の原則 （1）建材（平成14年12月26日付国土交通省告示第1113～1115号の対象建材） 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上り塗材 （2）使用の原則 JIS及びJASによるF☆☆☆☆のもの又は建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品を使用する。 なお、止むを得ずF☆☆☆☆以外の製品を使用する場合は、協議のうえ、使用すること。 2. 建材におけるクロロビリホス及びクレオソート油の使用禁止 クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律（昭和48年法律第12号）に適合したものは可とする。 3. その他化学物質の使用制限 建材の選定に当っては、材料の成分表又は化学物質安全データシート（MSDS）等により、次の揮発性化学物質の含有量が少ない材料を選定する。 （1）接着剤及び塗料等の建材に使用される化学物質 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、テトラデカン、アセトアルデヒド、フタル酸ジ-n-ブチル、 フタル酸ジ-2-エチルヘキシル （2）殺虫剤及び防蟻材等の建材に使用される化学物質 パラジクロロベンゼン、ダイアジノン、フェノプロカルブ

章	項 目	特 記 事 項
(23)	暴力団員等による不当介入の排除	守山市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に対する通報・連絡制度」の徹底について） 1. 請負者（請負人または受注者）は、暴力団員等（暴力団の構成員および暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求または業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。 2. 請負者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第1号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、請負者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。 3. 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
(24)	特例監理技術者等の配置	1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合以下の（1）～（8）の要件を全て満たさなければならない。 (1) 建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。 (2) 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定項目は、特例監理技術者に求める技術検定項目と同じであること。 (3) 監理技術者補佐は、請負者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (4) 同一の特例監理技術者を配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までであること。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る）については、これら複数の工事を一の工事とみなす。） (5) 特例監理技術者が兼務できる工事は湖南4市（守山市、草津市、栗東市、野洲市）内の工事であればならない。 (6) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。 (7) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (8) 監理技術者補佐が担う業務等について明らかにすること。 2. 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、前項（1）～（8）の事項について確認できる書類を下記により提出すること。 (1) 監理技術者補佐の資格を有する書類（一級施工管理技士等の国家資格者などの合格証など） (2) (1) の提出書類と同じ (3) 監理技術者補佐の直接的かつ恒常的な雇用関係を証明する書類（3か月以上の雇用関係を証明できる健康保険被保険証の写しなど） (4) 特例監理技術者が兼務する工事のCORINSの写し等 (5) (4) の提出書類と同じ (6) 業務分担、連絡体制等を記載した書類（施工計画書など） (7) (6) の提出書類と同じ (8) (6) の提出書類と同じ 3. 本工事において、特例監理技術者および監理技術者補佐の配置を行う場合または配置を要さなくなった場合は適切にCORINSへの登録を行うこと。
(25)	別途工事との連絡協議	受注社は、別途施工する工事別の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いについて、施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。
(26)	申請等	本工事における、官公庁の各検査および完了にかかる消防法等、全ての法的検査は受注社にて行うものとする。 また、その費用（手数料等）は一切受注者負担とする。
(27)	週休2日取り組み指定工事について	本工事は、発注者が週休2日達成100%に取り組みことを指定する発注者指定方式工事である。対象期間、費用の計上、実施方法等については、「守山市週休2日取組指定型工事実施要領」によるものとする。

	○ 特記事項	名称	守山市新庁舎車庫棟整備工事	scale. No Scale	図面no. 1-1-1
			特記仕様書（仕上 1）	date.	

3節 工事現場管理				5節 施工								
1.3.3 電気保安技術者	(1) 電気保安技術者の適用 ◆ 有 ○ 無 令和 4			1.5.9 化学物質の濃度測定	建築基準法による規制:ホルムアルデヒド発散建築材料の規制 ^{(注)3} 内装仕上一般部 ◆ F☆☆☆☆ ○ F☆☆☆ 天井裏等隠蔽部 ◆ F☆☆☆☆ ○ F☆☆☆							
1.3.5 施工条件	置換 施工条件は、工事請負に関する契約による。				規制対象化学物質							
1.3.6 品質管理	置換 (3) 品質管理の結果、疑義が生じた場合は、監理者と協議する。				適用法規制 ^{(注)1}							
1.3.7 下請業者・機材等の選定	(2) 工事の施工等に関し、下請施工を必要とする場合および施工に必要な各種資材等の購入については、可能な限り守山市内に本社、本店を有する者の中から選定すること。				室内空気質の測定 ^{(注)2}							
1.3.12 発生材の処理等	置換 (2) (ア) 発生材のうち、発注者に引渡しを要するものは発注者の指示による。 なお、引渡しを要するものと指定されたものは、発注者の指示を受けた場所に保管する。また、保管したものの報告書を作成し、発注者に提出する。 置換 (イ) 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は、関係法令等により、適切に行うものとする。 (ウ) 発生材のうち、工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るものは、工事請負に関する契約による。 なお、再資源化を図るものと指定されたものは、分別を行い、所定の再資源化施設等に搬入したのち、発注者に報告する。 置換 (オ) 発注者の残置物の処理は、別途協議による。 付加				測定要否 ◆ 要 ○ 否 ○ 要 ● 否 ○ 要 ● 否 ○ 要 ● 否 ○ 要 ● 否 ○ 要 ● 否 ○ 要 ● 否							
1.3.15 受電時の安全確保	追補 (1) 受電時の安全性について、出来形の条件は(1)及び(2)の状態とする。 受変電設備、電気室及び電気シャフトの建築工事を含めたすべての工事が完了し、施錠管理ができる状態とする。 (2) すべての幹線工事、動力盤・電灯盤の1次側工事が完了し、2次側については安全上、活線作業・活線近接作業が発生しない状態とする。				測定場所 ^{(注)4} 各階ごとの任意の居室(執務室1～9、議場) 測定箇所 ^{(注)4} 居室中央部の高さ床上0.75m～1.20m、10ヶ所 測定法 ○ 詳細法 (○ アクティブ法 ○ パッシブ法) ● 簡易法 ^{(注)5} 実施時期 ◆ 引渡し前(家具搬入前) ○ 竣工後最初の夏期 費用負担 ◆ 本工事 ○ 別途							
4節 材料					6節 完成、検査							
					1.6.1 完成、検査				置換 完成、検査、部分引き渡しの指定部分に係る完成、検査、部分払いの請求に係る出来高部分等の検査は工事請負契約約款による。			
					1.6.1-A 監理者検査				追補 監理者中間検査として躯体の完成時及び監理者完成検査として建築物全体の完成時に、書類及び現地確認による総合的な検査を受ける。			
					1.6.2 法定検査				置換 法定検査は、契約約款による。			
				1.6.3 その他の検査				置換 その他の検査は、契約約款による。				
				7節 完成図等								
				1.7.1 完成時の提出図書				工事完成時の提出図書及び提出先は、1.7.2および1.7.3による。				



設計者 竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作成 23.06.30	承認 大平 有田 須賀			名称 守山市新庁舎車庫棟整備工事	設計 NO 4200513	図面 NO 1 -1-2
		発行	主担当 片瀬 利行	担当	製図		特記仕様書（仕上 2）	

1.7.2
完成図

提出する完成図の種別、サイズ、部数

種別	サイズ	体裁	部数	提出先	備考
建築図・構造図・設備図	A1	標準	1	守山市	
建築図・構造図・設備図	A3	標準	4	守山市	PDFデータ要
建築図・構造図・設備図	A3	標準	1	監理者1	限事務所
建築図・構造図・設備図	A3	標準	1	監理者2	安井建築事務所

装丁は（◆当社標準○指定）とする。
施工図及び施工計画書については、監理者と協議する。

置換

(2)(イ) 提出はCADからの出図とする。

提出する竣工写真の部数、カット数、サイズ

種類	部数	カット数		備考
		外観	内観	
◆カラープリント	4部	4ヶ所	5ヶ所	デジタルデータを含む(サイズはキャビネを標準とする)守山市:2部、監理者1:1部、監理者2:1部
○	部	ヶ所	ヶ所	
○	部	ヶ所	ヶ所	

3節 仮設物

2.3.1
監理者事務所

(1) 監理者事務所の設置
◆設ける（受注者事務所と別室）○設けない
監理者事務所の規模（10）m²程度
上記のほかに設ける諸室及び規模は次による。

監理者事務所の仕上げは、次の程度とする。
床：ビニル床シート張り又はタイルカーペット敷き
壁：せっこうボード張りの上、合成樹脂エマルションペイント塗り
天井：せっこうボード張りの上、合成樹脂エマルションペイント塗り
なお、監理者事務所を敷地内外の借室を利用する場合も同程度、同仕上程度とする。

(2)(ア) 監理者事務所には、電気、給排水衛生、空気調和等の設備を設ける。
什器、備品は次により、設計者・監理者事務所レイアウトを提出し監理者の承認を受ける。
事務机（1200×700）及び椅子：3セット、キャビネット400×700：1、書類棚880×400：1、見本棚（880×400）：1、図面架（880×400）：1、打合せ机（1,500×750×700）及び椅子：1セット、更衣ロッカー（3人用）ハンガー付き：2、下足箱・靴べら：1、パソコン・複合機・カメラ・Wi-Fi設備：1（註1）月間予定表・行動予定表・白板：1、掛け時計・カレンダー・ゴミ箱：要
冷蔵庫・食器棚：原則要、長靴・安全靴・ヘルメット掛け・雨合羽：要、検査用具：要※常備は不要（註2）事務用具：要（註3）
（註1）パソコン・複合機（プリンター・スキャナー）・カメラ・Wi-Fi設備：インターネットe-mailが可能なこと。「Word」「Eexel」が可能なこと。カラープリンタとする。カメラはデジカメ（300万画素以上）とする。複合機及びデジカメ・Wi-Fi設備はそれぞれ一台ずつとする。

（註2）検査用品：テストハンマー、懐中電灯、水準器（30cm）、メジャー、鏡（10×15cm）、マグネット、タイルテスター、曲折鏡、クラックスケール等
（註3）事務用品：付箋紙、ボールペン、電気鉛筆削り、スコッチテープ、カッター、チューブファイルA4版、修正液、穴孔器、赤黒スタンプ、ハサミ、色鉛筆、のり（スティックのり）、クリップ、ダブルクリップ、カラープリンターとする。消しゴム、名刺フォルダ、蛍光ペン（5色）、ホッチキスなど

2.3.2
危険物貯蔵所

置換

(1) 塗料、油類等の引火性材料、並びに特定化学物質の貯蔵・保管・取り扱いについては、安全データシートや関係法令等に基づき、適切な規模、構造及び設備を備えたものとする。また、関係法令等適用外の場合でも、建築物、仮設事務所、他の材料置場等から隔離した場所に設け、屋根、壁等を不燃材料で覆い、各出入口には錠を付け、「火気厳禁」の表示を行い、消火器を設け、安全対策を講ずる。
なお、やむを得ず工事目的物の一部を置場として使用する場合には、発注者の承認を受ける。

4節 仮設物撤去その他

2.4.1
仮設物撤去その他

置換

(2) 工事の進捗上又は工事現場内の建築物等の使用上、仮設物が障害となり、かつ、仮設物を移転する場所がない場合は、発注者の承認を受けて、工事目的物の一部を使用することができる。

3章 土工事（特記仕様書（躯体）による）

4章 地業工事（特記仕様書（躯体）による）

5章 鉄筋工事（特記仕様書（躯体）による）

6章 コンクリート工事（特記仕様書（躯体）による）

2章 仮設工事

2節 縄張り・遣方、足場その他

2.2.4
足場その他

置換

(2) 足場の組立、解体、変更等の作業においては、厚生労働省「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」（平成21年4月）と同等な安全性を有する方法によるものとする。また、足場の使用時においては、労働安全衛生規則に則って行うものとする。

置換

(4) 定置する足場、作業構台等を別契約の請負者が使用する場合は費用負担については、発注者との工事請負に関する契約による。工事請負に関する契約に明記がない場合は、費用負担について協議を行うものとする。



髙竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作 成 23.06.30	承 認 大平 有田 須賀			名 称 守山市新庁舎車庫棟整備工事	設 計 NO 4200513	図 面 NO 1 -1-3
		発 行	主 担 当 片瀬 利行	担 当	製 図		特記仕様書（仕上 3）	

7章 鉄 骨 工 事 （9節を除き、特記仕様書（躯体）による）						8.4.2 材料 (8.4.3) (8.4.4) (8.4.5)	区分、厚さ、耐火性及び構法																										
7章 鉄 骨 工 事							区分		厚さ(mm)	耐火性 (時間)	構法	備考																					
							用途	表面加工の有無																									
7.9.2 耐火被覆の 種類等 (7.9.3)							(1)	耐火被覆の種類及び性能 下記による	部位	使用階	種類	厚さ (mm)	耐火時間 (時間)	認定番号	外壁	● 平パネル ○ 意匠パネル	● 100 ○ 125(120) ○	1	○ A種(縦壁ロックング構法) ● B種(横壁アンカー構法) ○														
																柱	1～R 車いす用駐車場		半乾式吹付ロックウール 耐火塗料（屋外防水仕様）		25mm 4.5mm	1 1	FP060CN-9460 FP060CN-9472										
																								柱 (合成)	○ 平パネル ○ 意匠パネル	○ 100 ○	○ C種(縦壁ロックング構法) ○ D種(横壁アンカー構法) ○ E種(縦壁フットプレート構法) ○						
																												梁	1～R 1、2（ルーバー天井内） 車いす用駐車場	半乾式吹付ロックウール 巻き付け耐火被覆材 耐火塗料	25mm 20mm 2.5mm	1 1 1	FP060BM-9408 FP060BM-0292(箱張り) FP060BM-0047(箱張り) FP060BM-0159(直張り) FP060BM-9419
その他 (ブレース 床 屋根 外壁等)																																	
付加											(2)	耐火性能検証法の適用 ○ 有 ● 無																					
付加	(3)	(3) 半乾式吹付けロックウール工法に対するセメントスラリー吹きによる表面硬化処理 ● 有 施工箇所：E Vシャフト内、天井裏チャンバー内、電気室、通信機械室、PS・EPS ○ 無																															
8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事																																	
2節 補強コンクリートブロック造																																	
3節 コンクリートブロック帳壁及び塀																																	
4節 ALCパネル																																	
8.4.1-A 性能	追補	(1)(ア) 外壁の設計用風圧力 最大正風圧力 ＋ 1,992 N/m ² 最大負風圧力 － 1,385 N/m ² 設計用風圧力の最小値は、正負とも1,200N/m ² とする。 屋根の設計用風圧力 一般部分 最大正風圧力 ＋ N/m ² 最大負風圧力 － N/m ² 局部負圧の生ずる部分(軒先・けらば・棟等) 最大負風圧力 － N/m ² (範囲は設計図による) (イ) 設計用風圧力に対し、構成材に破損・脱落や有害な変形が生じないようにする。																															
8.4.2 材料 (8.4.3) (8.4.4) (8.4.5)																																	
付加 (3)(イ) (b)下地鋼材及び開口補強鋼材の錆止め塗料塗りの回数は、内装の見え隠れ部については以下とする。 ◆ 1 回塗り（溶接箇所等は補修塗りを行う） ○ 2回塗り ○																																	
8.4.3 外壁 パネル構法 置換																																	
(8) ○ 伸縮調整目地に耐火目地材を充填する場合 使用材料： (9)(ア) 構法がB種の場合、受金物は、パネル積上げ段数3段以下ごとに設ける。 ー タイル張り仕上げ（材質、形状、寸法は11章[タイル工事]による） ○ 工場張り ○ 現場張り ○																																	
5節 押出成形セメント板(ECP)																																	
9章 防 水 工 事																																	
1節 共通事項																																	
9.1.9 保証期間																																	
追補 防水工事は専門工事業者による責任施工とし、建物の漏水に関する保証期間は下記による。 ただし、免責事項及びその他の項目については保証書によるものとする。 ・ 防水																																	
防水仕様																																	
種別																																	
保証期間 (注) 1																																	
備考																																	
アスファルト防水																																	
密着工法・絶縁工法共																																	
10 年																																	
改質アスファルトシート防水																																	
密着工法・絶縁工法共																																	
－ 年																																	
*																																	
合成高分子系																																	
(注) 2、塩ビ系																																	
10 年																																	
エチレン酢ビ樹脂系																																	
－ 年																																	
*																																	
ルーフィングシート防水																																	
ウレタンゴム系 (注) 2 (X-1、X-2)																																	
10 年																																	
ウレタンゴム系 (TX-A)																																	
－ 年																																	
TX-Bは、保証対象外																																	
*																																	
塗膜防水																																	
アクリルゴム系																																	
5 年																																	
FRP複合系																																	
－ 年																																	
*																																	
ウレタンゴム複合系塗膜防水(TXH)																																	
－ 年																																	
*																																	
ゴムアス系（内部）																																	
－ 年																																	
*																																	
ポリマーセメント系（内部）																																	
5 年																																	
(注)1. 「住宅品質確保促進法」の対象となる部分については、漏水に対する保証期間は10年とする。 2. 保証期間10年は、5年ごとに点検及び仕上塗料を塗り替える場合。																																	



監 竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作 成	承 認			名 称	設 計 NO	図 面 NO
		23.06.30	大平 有田 須賀					
		発 行	主 担 当	担 当	製 図	守山市新庁舎車庫棟整備工事	4200513	1 -1-4
			片瀬 利行			特記仕様書（仕上 4）		

				4節 合成高分子系ルーフィングシート防水					
				9.4.2 材料	置換	(3)(エ) SI=F1(加硫ゴム系ルーフィングシート防水断熱工法) SI-M2(塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水断熱工法)の断熱材の材質・厚さは下記による。			
						種別	材質	厚さ(mm)	備考
						○ SI=F1-	硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 ^{(注)1(注)2}		耐溶剤性の面材付
						○ SI=M2-	◇ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b ^{(注)1}		
							○ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号 ^{(注)1(注)2}		防湿性を有した面材付
						○			
						(注) 1. JIS A 9521（建築用断熱材）の規格に適合したもの。 2. 透湿係数を除く規格に適合したもの。			
				9.4.3 防水層の 種類 及び工程 (9.4.1) (9.4.4)	付加	合成高分子系ルーフィングシート防水の種類・施工箇所は、下記及び設計図による。			
						種別	施工箇所	備考	
						S-F1	設備配管取り出し口	仕上塗料：マット色	
				9.4.4 施工	付加	(5)(オ) 種別S=F1の場合は、ALCパネルの短辺方向の目地部(支持材上部の継手)に幅200～300mmの増張り用シートを張る。			
						(6)(イ) (a)ルーフィングシートの機械的固定工法の設計用風圧力			
						→ 一般部分 → 最大負風圧力 → N/m ²			
						→ 局部負圧の生ずる部分の範囲（詳細は設計図による） → 最大負風圧力 → N/m ²			
						→ 設計用風圧力に対しルーフィングシートの飛散が生じないようにする。			
				5節 塗膜防水					
				9.5.2 材料	付加 付加 付加 付加	(1) 主材料			
						(イ) 種別TAG(アクリルゴム系塗膜防水)は、防水材製造所の指定するものとする。			
						(ウ) 種別PA-1・PB-1(ポリマーセメント系塗膜防水)は、日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」によるAタイプ・Bタイプとする。			
						(エ) 種別TFR(FRP複合系塗膜防水)に用いるウレタンゴム系防水材は、JIS A 6021(建築用塗膜防水材)の屋根用による。防水用ポリエステルは、日本建築学会JASS 8 M-101-2014に適合するものとする。			
						(オ) 種別TXH(ウレタンゴム複合系塗膜防水)に用いるウレタンゴム系防水材は、JIS A 6021(建築用塗膜防水材)の屋根用による。			
						(5) 種別TFRに使用する防水用ガラスマットは、JIS R 3411 (ガラスチョップドストランドマット)に適合するもので、主材料製造所の指定する製品とする。			
				9.5.3 防水層の 種別 及び工程	塗膜防水の種別及び主な施工箇所は下記による。詳細は設計図による。				
					種別	施工箇所	備考		
					X-2	2、3、4、RFバルコニー、パラペット、屋上設備基礎	仕上塗料：グレー色 防滑		
					TAG	3-2トイレ、風除室、1階開口部と床の取り合い入隅	仕上塗料：グレー色		
					PB-1	消火水槽、雑用水槽			
					TEP-C	緊急排水槽			
				TX-A、TX-B、TAG、PA-1、PB-1、TFR及びTXHの工程は、内外部仕上共通仕様による。					



髯竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作 成 23.06.30	承 認 大平 有田 須賀			名 称 守山市新庁舎車庫棟整備工事	設 計 NO 4200513	図 面 NO 1 -1-5
		発 行	主 担 当 片瀬 利行	担 当	製 図			

特記仕様書（仕上 5）

6節 ケイ酸質系塗布防水					10章 石 工 事									
9.6.3 防水層の 種別 及び工程 (9.6.1)		・ ケイ酸質系塗布防水の種別及び主な施工箇所は下記による。詳細は設計図による。			1節 共通事項									
		種別	施工箇所		備考									
		C-UI,C-UP	ELVビット											
9.6.4 置換 施工		(2) 下地処理 (ア) (a) コンクリートの打継ぎ箇所は、バリやノロ等がないようにケレンする。地下躯体で漏水がある場合は、樹脂注入等を行って止水処理を施す。												
7節 シーリング														
9.7.2 材料 (9.7.3)		(2)(ア) シーリング材の種類・主な施工箇所・目地寸法は下記による。詳細は設計図による。												
		種類	施工箇所		塗装の有無	目地寸法(mm)								
		PU-2	外壁打継目地、RC/ECP取合、ECP		有	図面による								
		PU-2	コンクリートひび割れ誘発目地		有	図面による								
		MS-2	サッシ/RC取合・ECP取合		有	図面による								
		MS-2	タイル（伸縮調整目地）		無	図面による								
		SR-1	キッチン、洗面・化粧台回り		無	図面による								
		・ 石目地部のシーリング材の種類・施工箇所・目地寸法は、10章[石工事]による。 グレージング部のシーリング材の種類・施工箇所・目地寸法は、16章14節[ガラス]による。 メタルカーテンウォール・PCカーテンウォールで使用するシーリング材の種類・施工箇所・目地寸法は、17章[カーテンウォール工事]による。 ・ シーリング材表面に塗装する場合は、2成分形ポリウレタン系、2成分形変成シリコーン系はノンブリードタイプとする。			※表面処理材はパーフェクトコート（工場塗布）程度とする。 ※外部の表面処理は5面とする。									
9.7.5 シーリング 材の試験		(2) 接着性試験 ● 簡易接着性試験 ○ 引張接着性試験 ○ 行わない 実施する被着体			10.2.2 取付け 金物 付加 (7)(ア) 受金物、乾式工法の石材の自重を受ける金物及びアンカー類の材質は外壁及び水掛りの内壁の場合、ステンレスとする。									
追補	8節 定形シーリング				10.2.3 その他の 材料 (4) 伸縮調整目地シーリング材 ・ 外部 ◆ PS-2 ○ MS-2 → 内部 ◇ PS-2 ○ SR-1 ○									
追補	9節 ライニング工法													
9.9.1 一般事項		・ この節は、汚水・厨房系の排水が流入する水槽類において、鉄筋コンクリートの防食を目的として施工するライニング工法(エポキシ樹脂系、耐有機酸エポキシ樹脂系、ビニルエステル樹脂系)に適用する。			追補 8節 石材先付けプレキャストコンクリート工法									
9.9.2 ライニング 工法の品質		(1) ライニング工法は、「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」(2017年)の塗布型ライニング工法の品質規格(C種、D種)に適合するものとする。 (2) TEP-Cは、(1)の品質規格C種に適合するエポキシ樹脂系ライニングとする。 (3) TEP-Dは、(1)の品質規格D種に適合し、耐有機酸性を有するエポキシ樹脂系ライニングとする。 (4) TSVは、(1)の品質規格D種に適合するビニルエステル樹脂系ライニングとする。			11章 タ イ ル 工 事									
9.9.3 種別 及び工程		・ TEP-C(エポキシ樹脂系ライニング工法) TEP-D(耐有機酸エポキシ樹脂系ライニング工法) TSV(ビニルエステル樹脂系ライニング工法) の種別及び主な施工箇所は下記による。詳細は設計図による。			1節 共通事項									
		種別	補強材の積層数		施工箇所	備考	11.1.1 一般事項 付加 ・ この章のタイルには、既製薄形石材（天然石タイル）を含む。 ただし、床への天然石タイル張りは除く。							
		TEP-C	◆ 1 ○	緊急排水槽	6面施工	11.1.1.2=A 共通事項 (11.2.2) (11.3.2) (1) 外装タイルは、タイルごとに縦横とも目地を設け、目地詰めを行う。 → 外壁タイルの目地深さ 小口以上 ◇ 2mm ○ ユニットタイル ◇ すり込み目地 ○ ○ すり込み目地 ○								
		TEP-D	◇ 1 ○		耐有機酸性	→ 外壁タイルの目地詰め 外壁タイル後張り工法の目地詰め形状 ◇ 平目地 ○								
		TSV	◇ 2 ○			→ 深目地の場合のタイル小口の軸葉 ○ 行う ○ 行わない → PC部材におけるタイル目地の仕様 ◇ 打放し ○ 後詰め 後詰めとする場合でも、タイル小口にコンクリートが掛かるようにする。								
		・ TEP-C、TEP-D、TSVの工程及び各工程の使用量は製造所の仕様による。												



株式会社 竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第298316号	作 成	承 認			名 称	設 計 NO	図 面 NO
		23.06.30	大平 有田 須賀					
		発 行	主 担 当	担 当	製 図	守山市新庁舎車庫棟整備工事	4200513	1 -1-6
			片瀬 利行			特記仕様書（仕上 6）		

11.1.3
伸縮調整
目地及び
ひび割れ
誘発目地
(11.2.4)
(11.3.4)

付加

・

目地の位置、目地寸法、形状は、設計図による。(外壁・内壁・床・陸屋根等)

・

シーリング材の種類は、9章7節[シーリング]による。

材料
(11.2.2)
(11.2.7)
(11.3.2)

・

タイルの形状、寸法、施工箇所、耐凍害性の有無、色調等

下記による

形状・寸法 (mm)	施工箇所	吸水性 区分 ^(注)			耐凍 害性	釉薬 無釉	役物 施釉	有無	色調 標準	特注	現場 張り	工 場 張り	セ メ ン ト モ ル タル 張り	工 法		備考	
		後張り		先付け													
		I 類	II 類											III 類	下 地		P C
300×600	1階共用部	内床	●	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	コンクリートモルタル		CSR値0.46以上
200×1200	1-1トイレ	内床	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	コンクリートモルタル		CSR値0.46以上
モザイクタイル	食堂手洗い周り	内壁	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	●	石膏ボード		ガラスモザイクタイル
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	

(注) I 類=3.0%以下(≒磁器質) II 類=10.0%以下(≒せっ器質) III 類=50.0%以下(≒陶器質)

見本焼

○ 行う

(

)

役物

○ 一体型

(

)

○ エポキシ樹脂接着役物加工

(

)

タイルの試験張り

○ 製作する

(

)

(意匠確認)

(大きさ: mm × mm 仕様:)

内装天然石タイル等の材質、形状、寸法等(工法は11.3.3による)

下記による

材質・形状・寸法 (mm)	施工箇所	表面仕上げ	厚さ (mm)	表面処理 裏面処理	裏打ち処理	目地材	目地幅 (mm)

施工
(11.2.7)
(11.3.7)

下地及びタイルごしらえ

工法の種別	施工箇所	備考
◇ 目荒し工法 (◇ 超高压水洗 ○)		
○ その他		

2節 セメントモルタルによるタイル張り

11.2.4
その他の
置換
材料

(1) 引金物のなましステンレス鋼線 (SUS304) は、径0.4mm以上とする。

3節 接着剤によるタイル張り

11.3.3
張付け用
材料

(1)(ア) 有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ◆F☆☆☆☆ ○

12章 木 工 事

1節 共通事項

12.1.4
表面仕上げ

(1)(ア) 内装材見え掛り面の機械加工の表面仕上げ等級は下記による。
◆A 種 ○B 種 ○C 種 ()
(イ) 内装材見え掛り面の手加工の表面仕上げ等級は下記による。
内部造作材 ○H-A 種 ◆H-B 種 ○H-C 種
下地材 ○H-A 種 ○H-B 種 ◆H-C 種

2節 材料

12.2.1
木材

・

樹種

下記及び設計図による

区分	樹種	備考 (特殊仕上材)
造作材	スギ	びわ湖産を使用する造作は練付
下地材 壁・天井下地		
下地材 畳下・下張り用床板	スギ	フローリング下地の普通合板
1, 2階天井・壁仕上げルーバー	スギ	不燃処理の上白染色
複合フローリング	ナラ	浮造り仕上げの上強化ウレタン塗装 (トレファート塗装)

・

造作材の等級

下記及び設計図による

使用箇所	部材	等級			備考
		○ TA種	◆ TB種	○ その他	
生地及び生地を見せる 塗装の場合	柱・吊束	上小節	小 節		
	敷居・かまち	無 節	上小節		
	かもい・なげし・回り縁	無 節	上小節		
	畳寄せ	無 節	上小節		1階宿直室
	天井さお縁	無 節	無 節		
	窓枠・出入口枠・額縁・膳板・幅木・カーテンボックス	無 節	上小節		議場
生地を見せない 塗装の場合	窓枠・出入口枠・額縁・膳板・幅木・カーテンボックス	小 節	小 節		天井ルーバー・造作家具共

造作用集成材、単板積層材等

下記及び設計図による

集成材名	適用箇所	樹種名	品質等級	備考
○			○ 1等 ○	
○			○ 1等 ○	
○			○ 1等 ○	
○			○ 1等 ○	

・

合板等

下記及び設計図による

仕様	適用箇所	樹種名	品質等級	備考
● 構造用合板	1, 2階複合フローリング下地	スギ	t12	
○				
○				
○				

12.2.2
接合具等

(3) 接着剤
集成材、床張り用、木れんが用等の接着剤及び塗料は下記による。
ホルムアルデヒド放散量 ◆F☆☆☆☆ ○

3節 防腐・防蟻・防虫処理

髙竹中工務店	建築士法二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作 成 23.06.30	承 認 大平 有田 須賀			名 称 守山市新庁舎車庫棟整備工事	設 計 NO 4200513	図 面 NO 1 -1-7
		発 行	主 担 当 片瀬 利行	担 当	製 図			

13章 屋根及びとい工事

1節 共通事項

13.1.2-A
性能

追補

(1) (ア) 設計用風圧力 建築基準法施行令第82条の4及び平成12年建設省告示第1454号、第1458号による。高さ13m以下の建築物及び建築物の部分についてもこの告示式を適用する。

(13.2.3)
(13.3.3)
(13.4.3)

一般部分

最大正風圧力 + 315 N/m²

最大負風圧力 − 1,573 N/m²

局部負圧の生ずる部分(軒先・けらば・棟等)

最大負風圧力 − 2,706 N/m² (範囲は設計図による)

(イ) 設計用風圧力に対し、構成材に破損、飛散、脱落や有害な変形が生じないようにする。

(2) 設計用降雨強度

屋根用 ◆ 180mm/60分 ○ mm/60分

軒どい用 ◇ 100mm/60分 ○ mm/60分

谷どい・内どい用 ○ 60mm/10分 ○ mm/10分

○ mm/10分 ○ mm/60分

(3) 積雪荷重： N/m²

耐火性 耐火時間 ● 30分 ○ 無

13.1.5
保証期間

追補

屋根工事は専門工事業者による責任施工とし、建物の漏水に関する保証期間は下記による。
ただし、免責事項及びその他の項目については保証書によるものとする。

屋根葺の種類		保証期間	備考
金属板葺	銅板一文字葺	- 年	*
	長尺瓦棒葺(立はぜ葺)	10 年	街道広場、車寄せ大庇
	横葺(段葺)	10 年	その他小庇
折板葺		10 年	身障者用駐車場屋根
ステンレスシート溶接葺		- 年	*
粘土瓦葺		- 年	*
		年	
		年	
		年	

2節 長尺金属板葺

13.2.2
材料
(13.2.3)

・ 長尺金属板葺の材料・工法等

屋根葺形式	○ 銅板一文字葺 ○ 瓦棒葺(立はぜ葺) ● 横葺(段葺) ● ハゼ鉋合式平滑葺き
勾配	ハゼ鉋合式平滑葺き：1/10以上（元旦ビューティ：マツラールーフ7型） 段付きハゼ式横葺：15/100以上（元旦ビューティ：ダンツキルーフ182）
材料(規格等) 板厚	◇ 塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 板厚0.4mm ○ 熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 板厚： mm ● 塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 板厚： 0.45 mm
寸法	山高： 46・13 mm 山ピッチ： 455・182 mm
下葺材	○ アスファルトルーフィング940 ● 改質アスファルトルーフィング下葺材(粘着層付タイプ) 厚さ ● 1.0mm ○ mm ○
下地材	● 野地板 種類(○ 合板 ○ 杉板 ○ 硬質木片セメント板 ● 高圧木毛セメント板) 厚さ： 25 mm ○ コンクリートの上に混入モルタル(ステンレスメッシュ筋入り) 種類 (○ パーライト混入モルタル ○ 発泡ウレタン混入モルタル) 厚さ： mm
断熱材	● 有 (種別： 発泡ポリスチレン板) 厚さ： 40 mm ○ 無
積雪対応(雪止め)	○ 有 ● 無

(注) 専門工事業者は製造所の指定業者とする。
塗装の仕様は内外部仕上共通仕様による。
屋根30分耐火構造：ハゼ鉋合式平滑葺き FP030-RF-1852
ダンツキハゼ式横葺き FP030-RF-1852

3節 折板葺

4節 粘土瓦葺

5節 とい

13.5.2
材料
(13.5.3)

・ とい、ルーフドレン、フロアドレン、その他

	材種	呼び径・板厚	摘要
たてどい(屋内) 横走り管(屋内)	◇ 配管用炭素鋼鋼管 ⊖	図示	防露巻き ◇ 表13.5.3 ○
たてどい(屋外) 呼びどい(屋外)	○ 配管用炭素鋼鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(肉厚管) ○ ステンレス製 ● アルミ製 ○	図示	
軒どい	⊖ 耐酸被覆鋼板 ⊖ 硬質塩化ビニル製 ⊖	図示	落口防塵キャップ (ステンレス製)
ルーフドレン	◆ ねずみ鋳鉄品 ○ ○ ○	図示	表面処理 ◆ 合成樹脂系塗料 ○ 防水層の張掛け幅 ◇ 50mm程度 ● 100mm
フロアドレン	● ねずみ鋳鉄品 ○	図示	
オーバーフロー	● ステンレス製 ○	図示	
とい受金物 (たてどい)	◇ 熔融亜鉛めつき製 ● ステンレス製	図示	大きさは表13.5.2による
とい受金物 (軒どい)	◇ 熔融亜鉛めつき製 ⊖ ステンレス製	図示	大きさは表13.5.2による
飾ります	◇ プラスチック既製品 ⊖	図示	
養生管	◇ 配管用炭素鋼鋼管 ⊖	図示	◇ 高さ2m ⊖

(3) 防露材のホルムアルデヒド放散量— ◇ F☆☆☆☆ ⊖

13.5.3
工法

付加

(1)(オ) 横走り管
(a) 勾配は1/100以上とし、横走り管が長い場合は要所に掃除口を設ける。天井のある場合は、掃除口のメンテナンスができる位置に天井点検口を設ける。
(b) 雨水配管類の吊り及び支持方法は、特記仕様書（共通設備）「機械設備工事編 第2編 共通工事」の「2.6.3 吊り及び支持」による。

追補

6節 ステンレスシート溶接葺

14章 金属工事

1節 共通事項

14.1.2-A
性能

追補

・ 設計用風圧力は各節による。
設計用風圧力の最小値は、正負とも1,200N/m²とする。（屋根に相当する部分を除く。）
設計用風圧力に対し、構成材に破損・脱落や有害な変形が生じないようにする。

竹中工務店 建設 建築	建築士法第二十条に基づく設計者の表示	作 成 23.06.30	承 認 大 平 有田 須賀			名 称 守山市新庁舎車庫棟整備工事	設 計 NO 4200513	図 面 NO 1 -1-8
	須賀定邦 一級建築士登録 第298316号	発 行	主 担 当 片瀬 利行	担 当	製 図	特記仕様書（仕上 8）		

4節 軽量鉄骨天井下地										7節 アルミニウム製笠木																	
14.4.2 材料	付加	(1)	天井下地材		◆ JIS A 6517(建築用鋼製下地材(壁・天井))による			● 設計図による			14.7.1 適用範囲	付加	(2) この節は、製作物笠木にも適用する。														
		(2)	野縁等の種類		屋内 ◆ 19形 ○		、		屋外 ◇ 25形 ⊖		14.7.1-A 性能	追補	・ 設計用風圧力 一般部 最大正風圧力 + 315 N/m ² 最大負風圧力 − 2,706 N/m ² 局部負圧の生ずる部分 最大負風圧力 − 3,439 N/m ² 範囲区分は設計図による。														
		(5)	天井内に湿気が滞留するおそれがある場合や、工場地帯又は海浜地域（飛来海塩粒子の影響を受ける地域）等で金属の腐食の激しい場所に屋外の軒天井を設ける場合は、下地金物をアルミニウム合金めっき製品（高耐食めっき鋼板）として、防錆を目的とした保護コーティングを施したボルト・ナット類と組み合わせるか、又はステンレス製で統一する。										14.7.3 工法	付加	(6) オープン形式の既製品笠木を除き、笠木は裏面に防露、発音防止材(ひる石厚さ3mm程度)を施す。												
		腐食の激しい環境の天井下地材					適用部位			備 考			8節 手すり及びタラップ														
													14.8.2 手すり							置換	(2) (エ) 手すりの支柱等は構造躯体等に堅固に取り付けるものとし、固定方法は設計図による。						
																				・ 設計用風圧力 最大正風圧力 + 1,992 N/m ² 最大負風圧力 − 1,385 N/m ² 2階バルコニー手摺 最大正風圧力 +1,594N/m ² 最大負風圧力 −1,345N/m ² ・ 次表の墜落防止手すりは、下記の水平荷重に対して、躯体取付け部が破壊しないものとする。							
14.4.4 工法 (14.4.3)	付加	(5) (ア) 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法（単位mm）										追補		9節 アンカー金物													
		吊りボルト間隔					補強材寸法			補強材間隔																	
		900超～2,500以下					□-60×30×10×1.6			900																	
		2,500超～4,000以下					□-75×45×10×2.0			900																	
		4,000超の場合の吊りボルト間隔：					○			○ 設計図			○ 設計図			14.9.1 一般事項		・ この節は、金物・ボルト等をあらかじめコンクリートの中に設置する先付けアンカーと、コンクリートに穿孔して設置するあと施工アンカーに適用する。									
		(10)	天井下地材における耐震性を考慮した補強は設計図による。										14.9.2 材料		(1) 金属拡張アンカーの定着部は、JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)、JIS G 3123(みがき棒鋼)又はこれらと同等以上の品質を有するものとする。												
(11) (イ)	屋外の軒天井、ピロティ天井等の設計用風圧力 最大正風圧力 + N/m ² 最大負風圧力 天井奥行きが2m以下の場合 一般部 − N/m ² 両端部 − N/m ² 天井奥行きが2mを超える場合 一般部 − N/m ² 両端部 − N/m ² (注) 両端部の範囲は0.1a'とし、a'は建築物平面の短辺の長さとしH（建築物の高さと軒の高さとの平均）の2倍の数値のうちいずれか小さな数値とする。												(2) 接合されるボルト及び棒鋼は、JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材)、JIS G 3112(鉄筋コンクリート用棒鋼)、JIS G 3138(建築構造用圧延鋼材)又はこれと同等以上の品質を有するものとする。														
付加	・	曲面天井、勾配天井、軒天井、ピロティ天井等における野縁と野縁受の固定には、脱落防止のため、ねじクリップ等を使用する。												(3) 接着系アンカーの固着剤は、エポキシ系樹脂、ポリエステル系樹脂、エポキシアクリレート系樹脂、ビニルウレタン系樹脂又は無機系とする。													
5節 軽量鉄骨壁下地																											
14.5.2 材 料		(1)	壁下地材		◇ JIS A 6517(建築用鋼製下地材(壁・天井))による			● 設計図による			14.9.3 工法	(14.1.3)	(2) あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験 ○ 行う ● 行わない														
		腐食の激しい環境の壁下地材					適用部位			備 考			追補	10節 両面金属板張り断熱パネル													
													追補	11節 金属パネル・スパンドレル													
													追補	12節 E x p . J 金物													
													追補	13節 免震 E x p . J 金物													
14.5.3 形式及び寸法	付加	(1)	スタッド、ランナーの種類		◇ 表14.5.1による			● 設計図による																			
		スタッドの高さが5mを超える場合 ● 補強あり(部材:) ○ 補強なし(スタッド部材:)																									
		(3)	開口部の補強材		◆ スタッドと同じ幅			● 表14.5.1																			
14.5.4 工法	・	きしみ音対策		○ 不要 ● 要			適用箇所 議場																				
6節 金属成形板張り（天井）																											



株式会社 竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第298316号	作 成	承 認			名 称	設 計 NO	図 面 NO
		23.06.30	大平 有田 須賀					
		発 行	主 担 当	担 当	製 図	守山市新庁舎車庫棟整備工事	4200513	1 -1-10
			片瀬 利行			特記仕様書（仕上 10）		

00858_A3.21.07

追補		14節 焼付け塗料塗り																																													
18.14.1 一般事項		・ この節は、建具およびメタルカーテンウォールを除くアルミニウム面に使用する熱硬化形アクリル樹脂エナメル塗り、熱硬化形ポリウレタンエナメル塗り、熱硬化形ふっ素樹脂エナメル塗り、熱可塑性ふっ素樹脂エナメル塗りに適用する。				○(オ)(カ) 防滑性床シート又は床タイル 下記による <table><tr><th rowspan="2">種類(記号)</th><th colspan="2">性能 (C.S.P値)</th><th rowspan="2">厚さ(mm)</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>乾燥した状態</th><th>水+ダスト散布状態</th></tr><tr><td>○ 複層ビニル床シート (FS)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 発泡複層ビニル床シート (HS)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ コンポジションビニル床タイル (KT)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 複層ビニル床タイル (FT)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										種類(記号)	性能 (C.S.P値)		厚さ(mm)	備考	乾燥した状態	水+ダスト散布状態	○ 複層ビニル床シート (FS)					○ 発泡複層ビニル床シート (HS)					○ コンポジションビニル床タイル (KT)					○ 複層ビニル床タイル (FT)					○				
																	種類(記号)	性能 (C.S.P値)			厚さ(mm)	備考																									
																乾燥した状態		水+ダスト散布状態																													
																○ 複層ビニル床シート (FS)																															
																○ 発泡複層ビニル床シート (HS)																															
																○ コンポジションビニル床タイル (KT)																															
○ 複層ビニル床タイル (FT)																																															
○																																															
18.14 焼付け塗料塗り (18.14.2) (18.14.3) (18.14.4)		・ 焼付け塗料塗りの種類、種別は下記による。				(6) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ◆ F☆☆☆☆ ○																																									
		塗料塗りの種類		塗料塗りの種別												備考																															
		○ 熱硬化形アクリル樹脂エナメル塗り(B - AE)		○ ソリッド ○ メタリック																																											
		○ 熱硬化形ポリウレタンエナメル塗り(B - UE)		○ ソリッド ○ メタリック																																											
		● 熱硬化形ふっ素樹脂エナメル塗り(B - FUE1)		● ソリッド ○ メタリック												木目調アルミルーバー																															
		○ 熱可塑性ふっ素樹脂エナメル塗り(B - FUE2)		○ ソリッド ○ メタリック																																											
		建具は16章[建具工事]、カーテンウォールは17章[カーテンウォール工事]による。				19.2.3 施工 付加 (3)(ウ) ゴム床タイルの張付けに当たっては、伸縮等を考慮して、施工時期及びゴム床タイル厚さに応じた隙間を設ける。																																									
		・ アルミニウム面に使用する熱硬化形アクリル樹脂エナメル塗り(B-AE)、熱硬化形ポリウレタンエナメル塗り(B-UE)、熱硬化形ふっ素樹脂エナメル塗り(B-FUE1)、熱可塑性ふっ素樹脂エナメル塗り(B-FUE2)の工程は、内外部仕上共通仕様による。																																													
追補		15節 浸透性吸水防止材+クリヤ塗り(H-ASC(W)、H-FUC(W))																																													
19章 内 装 工 事																																															
1節 共通事項																																															
19.1.3 共通事項		追補		(1) 躯体のひび割れ誘発目地部・下地材の伸縮調整目地部、壁の入隅部、及び異種材料や異種下地の取合い部は、原則として目地を設ける。																																											
2節 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り																																															
19.2.1 適用範囲		付加		(2) この節は、リノリウム床シート、及びリノリウム床タイルを含む。																																											
19.2.2 材料		(3) 特殊機能床材 (ア)(イ) 帯電防止床シート又は床タイル 下記による																																													
		種類(記号)		性能		厚さ(mm)																																									
				電気抵抗値(Ω)等 (― 根拠となる規格―) 数値																																											
		○ 複層ビニル床シート (FS)				程度																																									
		○ 置敷きビニル床タイル (FOA)				程度																																									
		○ コンポジションビニル床タイル (KT)				程度																																									
		○ 複層ビニル床タイル (FT)				程度																																									
		○																																													
		(エ) 耐動荷重性床シート 下記による																																													
		種類(記号)		厚さ(mm)		備考																																									
		○ 複層ビニル床シート (FS)																																													
		○ 単層ビニル床シート (TS)																																													
		○ 発泡複層ビニル床シート (HS)																																													
		○																																													



髯竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作 成 23.06.30	承 認 大平 有田 須賀			名 称 守山市新庁舎車庫棟整備工事 特記仕様書（仕上 14）	設 計 NO 4200513	図 面 NO 1 -1-14
		発 行	主 担 当 片瀬 利行	担 当	製 図			

20.2.13
ロールスクリーン

材質	性能品質	操作方法	施工箇所	備考
○ クロス(防炎) ○ ガラスクロス ○	○ 防炎 ○	○ 手動式 ○ 電動式 ○		
ー ロールスクリーンの幅、高さは設計図による。				
・ スクリーンボックス				
材質	形状・寸法	仕上げ	施工箇所	備考
○ スチール ○ 木製 ● 溶融亜鉛合金メッキ鋼板	● 設計図による ○	○ 焼付け塗装 ● 塗装 ○	設計図による	

20.2.14
カーテン及びカーテンレール

形式	操作方法	きれ地・品質	ひだの種類	カーテンレール	施工箇所
○ 引分け ○ 片引き	○ 手動 ○ 電動 ○	○ ポリエステル ○ ナイロン ○	○ 二つひだ ○	○ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ○	
ー カーテンの幅、高さは設計図による。					
ー カーテンボックス					
材質	形状・寸法(mm)	仕上げ	施工箇所	備考	
○ スチール ○ 木製 ○	○ 設計図による ○ -	○ 焼付け塗装 ○ 塗装 ○			

20.2.15
流し台及び戸棚等

・ 流し台・食器棚・フード等の既製品・特注品の別及びその材質・形状・寸法・仕上げ・付属品等 下記による				
種類	寸法 (mm)		仕様	備考
● 流し台	L: ○ 1200 ● 1500 ● 1,800		甲板 ● ステンレス ○ 人工大理石 ○	
● 吊戸棚	W: ○ 600 ○ 900 ● 1,500・1,800		● 低圧メラミン ○	
● コンロ	W: ● 18,001,500 ○		○ ガス ● IHヒーター	
○ グリル			○ 片面グリル ○ 両面グリル	
○ フード	W: ○ 750 ○		○ 既製品 ○ 特注品	
● 水切り棚	W: ○ 1200 ● 1500 ● 1,800		● ステンレス ○	
● 電気給湯器	● 有 ○ 無			
○				
○				

20.2.16
浴室及び洗面等のユニット

・ 浴室・洗面等のユニットの材質・形状・寸法・仕上げ・付属品等 下記による				
種類	寸法 (mm)	仕上げ材質	付属器具類	備考
ユニットバス	○ ○	○ FRP ○	○ メーカー標準品 ○	
ユニットシャワー	● 800 x800 ○	● FRP ○	● メーカー標準品 ○	
洗面化粧台	○ ○	○ 低圧メラミン ○	○ メーカー標準品 ○	

20.2.17
天井点検口

・ 枠材質・枠仕上げ・大きさ・施工箇所・箇所数 下記及び設計図による				
枠材質	枠仕上げ	大きさ	施工箇所	箇所数
● アルミニウム製 目地タイプ	焼付け塗装	450 x 450	設計図による	設計図による
● アルミニウム製 目地タイプ	焼付け塗装	600 x 600	設計図による	設計図による
○				
○				

20.2.18
床用点検口

・ 材質、受け枠、仕上げ材、大きさ等 下記による					
材質・受枠	仕上げ材	大きさ(mm)・その他性能		鍵・耐荷重	施工箇所
● 材質 ステンレス製 受枠	床仕上げ と同材	大きさ	600 x 600	鍵 ロック付き	設計図による
○ 材質 受枠		その他性能	防臭	耐荷重 5,000N(屋内)	
○ 材質 受枠		大きさ		鍵	
○ 材質 受枠		その他性能		耐荷重	
○ 材質 受枠		大きさ		鍵	
○ 材質 受枠		その他性能		耐荷重	
○ 材質 受枠		大きさ		鍵	
○ 材質 受枠		その他性能		耐荷重	

20.2.19
避難器具

・ 避難器具 下記による	
● 避難ハッチ ・ 操作 ・ 収納ケースの材質	● スラブ型 ○ 吊天井型(目隠しボックス付き) ○ ● 上階操作 ○ 上下階操作 ○ チャイルドセーフ装置付き ○ ● ステンレス製 ○
● 救助袋	バルコニー部自主設置、600角
○ 緩降機	
○ 避難はしご	
○	
○	
(1) 避難器具は消防法による構造規格その他関係法令に適合するものとし、その種類・形状は上記により、設置位置は設計図による。	
(2) 外部に設ける避難ハッチの枠は、原則としてステンレスとする。	

5節 敷地境界石標

種別	材質	箇所数	備考
敷地境界石標		設計図による	
● 要 ○ 不要	● コンクリート製ブロック既製品		

6節 フェンス

(1) フェンスに使用する材料は下記による。標準は既製品とし、製造者の仕様による。					
種別	主要部材の仕上げ	面材材質	高さ(mm)	基礎・寸法	備考
○ ネットフェンス ● メッシュフェンス ○	● ポリエステル樹脂 粉体塗装 ○	○ 塩化ビニル被覆鉄線 ● 合成樹脂被覆鉄線 ○	○ 1800 ● 1,500	◆ 既製コンクリート製 ○	緑化メッシュフェンス有

7節 ゴンドラ設備

サイン					
-----	--	--	--	--	--

性能

外壁サイン					
ー 耐風圧性					
壁		設計用風圧力	最大正風圧力		
			N/m ²		最大負風圧力
					N/m ²
ー 耐震性					
慣性力に対する安全性					
設計用震度(K)		水平方向	K=1.0		
		鉛直方向	K=0.5		

設計 竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作成 23.06.30	承認 大平 有田 須賀			名称 守山市新庁舎車庫棟整備工事	設計 NO 4200513	図面 NO 1 -1-17
		発行	主担当 片瀬 利行	担当	製図			

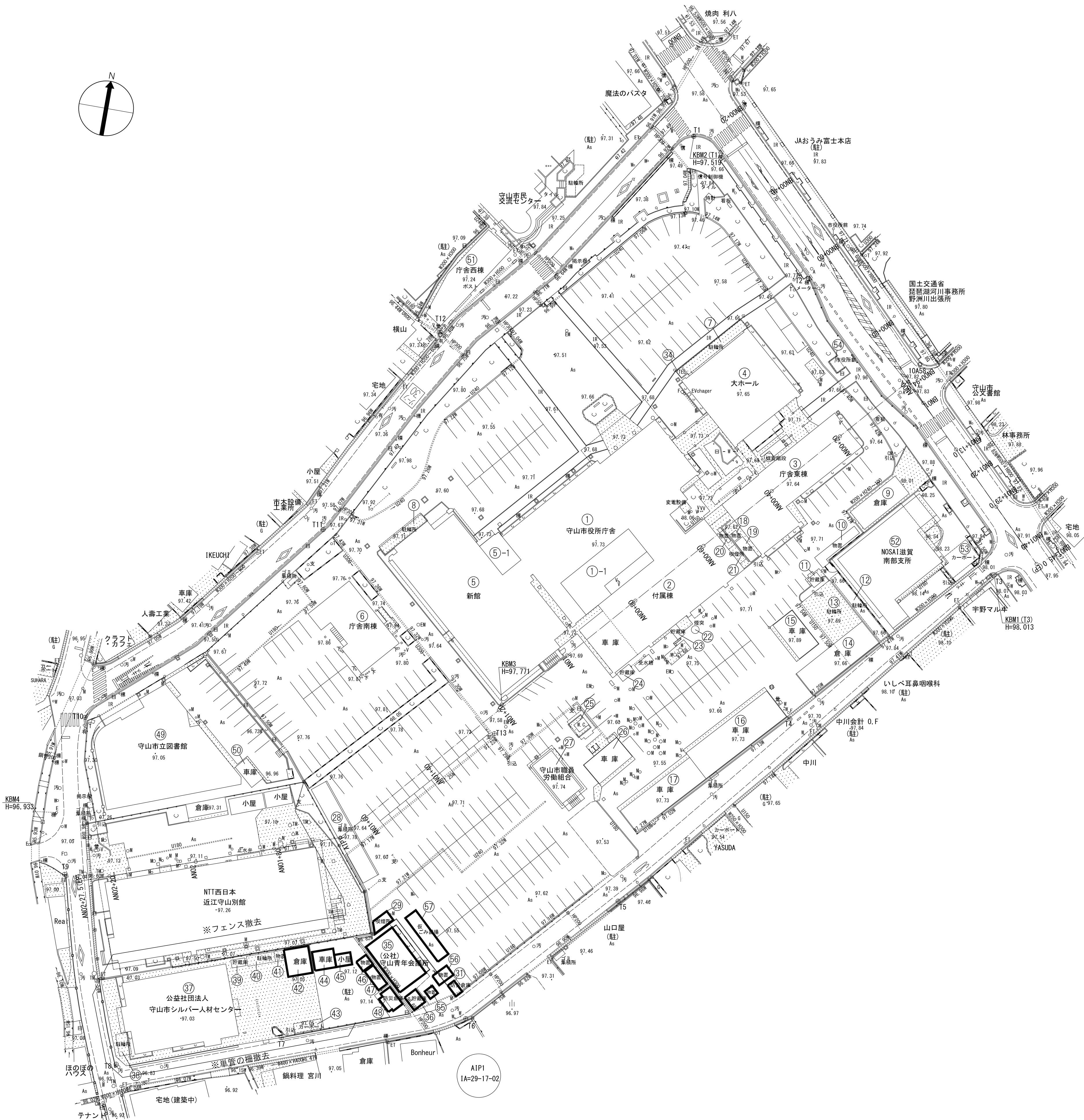
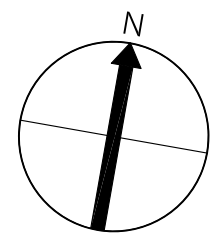
	自立サイン ・耐風圧性 設計用風圧力1,393 N/m ² ・耐震性 慣性力に対する安全性 設計用震度(K)水平方向K=1.0 鉛直方向K=0.5					(6) グレーチング(内部含む) 下記による <table><thead><tr><th>グレーチングの材質・形式</th><th>荷重の程度※</th><th>メインパースリット幅(mm)</th><th>ノスリップ仕様</th><th>みぞ幅(mm)</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>●鋼製(溶融亜鉛めっき)</td><td>重荷重(総重量25トン)</td><td>6</td><td>有</td><td>300</td><td>車道</td><td>RC側溝内寸：W250×H500</td></tr><tr><td>●鋼製(溶融亜鉛めっき)</td><td>重荷重(総重量25トン)</td><td>6</td><td>有</td><td>500</td><td>車道</td><td>RC側溝内寸：W400×H600</td></tr><tr><td>●鋼製(溶融亜鉛めっき)</td><td>歩行者用通路</td><td>6</td><td>有</td><td>25</td><td>歩道</td><td>RC側溝内寸：W150×H200</td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ※ 荷重の条件は、内外部仕上共通仕様による。 (10) 凍上抑制層に用いる材料 ◇砂 ○火山灰 ○切込砂利 ○ (12) 埋戻しに用いる材料 ○A種 ◆B種 ○C種 ○D種						グレーチングの材質・形式	荷重の程度※	メインパースリット幅(mm)	ノスリップ仕様	みぞ幅(mm)	施工箇所	備考	●鋼製(溶融亜鉛めっき)	重荷重(総重量25トン)	6	有	300	車道	RC側溝内寸：W250×H500	●鋼製(溶融亜鉛めっき)	重荷重(総重量25トン)	6	有	500	車道	RC側溝内寸：W400×H600	●鋼製(溶融亜鉛めっき)	歩行者用通路	6	有	25	歩道	RC側溝内寸：W150×H200	○							○						
グレーチングの材質・形式	荷重の程度※	メインパースリット幅(mm)	ノスリップ仕様	みぞ幅(mm)	施工箇所	備考																																															
●鋼製(溶融亜鉛めっき)	重荷重(総重量25トン)	6	有	300	車道	RC側溝内寸：W250×H500																																															
●鋼製(溶融亜鉛めっき)	重荷重(総重量25トン)	6	有	500	車道	RC側溝内寸：W400×H600																																															
●鋼製(溶融亜鉛めっき)	歩行者用通路	6	有	25	歩道	RC側溝内寸：W150×H200																																															
○																																																					
○																																																					
21章 排水工事																																																					
1節 共通事項																																																					
21.1.3 共通事項	追補	(1) 外構部分の設計用降雨強度																																																			
		設計用降雨強度(mm/hr)		適用範囲			備考																																														
		100		全て																																																	
2節 屋外雨水排水																																																					
21.2.1 材料 (21.1.3) (21.2.2)	(1) 排水管用材料 下記及び設計図による																																																				
	材種		管の種類		管形状(接合方法)																																																
	●遠心力鉄筋コンクリート管		◆外圧管(1種) ○		◆ソケット管(ゴム接合) ○カラー継手																																																
	●硬質ポリ塩化ビニル管		◆VP ○VU ○RS-VU		冷間工法継手 (◆接着剤 ○ゴム接合)																																																
	○強化プラスチック複合管		◇外圧管(2種) ○																																																		
	○高強度鉄筋コンクリート管		○耐圧用の排水管																																																		
	○		○																																																		
	(4) 側塊の形状及び寸法、排水柵及びふたの種類等は、設計図による。																																																				
	(5) 排水柵の種類等は、設計図による。																																																				
	・ 鋳鉄製マンホールふた(格子ふた・内部含む) 下記による																																																				
	マンホールふたの種類		荷重の程度※		形状・寸法(mm)		施工箇所		備考																																												
	●密閉形(テ-パ・パッキン式)		歩行者用通路		600φ		雑排水槽、緊急排水槽																																														
	●簡易密閉形(パッキン式)		歩行者用通路		600φ		消化水槽、防火水槽																																														
	○																																																				
	○																																																				
○																																																					
※ 荷重の条件は、内外部仕上共通仕様による。																																																					
22章 舗装工事																																																					
1節 共通事項																																																					
22.1.3 再生材	・ 再生材 ●使用する 使用材料：◇クラッシャラン ◆粒度調整碎石 ◇加熱アスファルト混合物 ○ ○使用しない																																																				
	2節 路床																																																				
	22.2.2 路床の構成及び仕上り(22.2.3)	(1) (ア) 凍上抑制層 ○適用する(厚さ mm) ●適用しない (イ) 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ◆100mm ○ mm (ウ) 路床安定処理 ●適用する(置換処理、目標CBR3以上) ○適用しない																																																			
		22.2.3 材料付加	(1) 盛土に用いる材料 ○A種 ◆B種 ○C種 ○D種 (2) (ア) 凍上抑制層に用いる材料 ◇砂 ○火山灰 ○切込砂利 ○ (イ) フィルター層に用いる材料 ◆砂 ○ (3) 路床安定処理用添加材料(セメント系安定材は六価クロム対応とする) ◆普通ボルトランドセメント ○高炉セメントB種 ○フライアッシュセメントB種 ○生石灰 ○消石灰																																																		
			22.2.5 試験	(1) 路床土の支持力比(CBR)試験 ●適用する (国土交通省「構内舗装・排水設計基準及び参考資料(平成31年)」2.3.3 による箇所数) ○適用しない (2) 路床締固め度の試験 ●適用する (国土交通省「土木工事施工管理基準及び規格値(案)(令和2年3月)」Ⅱ- 37による箇所数) ○適用しない																																																	



緑竹中工務店	建築士法第二十条に基づく設計者の表示 須賀定邦 一級建築士登録 第296316号	作 成	承 認			名 称	設 計 NO	図 面 NO
		23.06.30	大平 有田 須賀					
		発 行	主 担 当	担 当	製 図	特記仕様書（仕上 18）		1 -1-18
			片瀬 利行					

	(3) 現場CBR試験 ● 適用する (国土交通省「構内舗装・排水設計基準及び参考資料(平成31年)」2.3.3 による箇所数) ○ 適用しない	6節 カラー舗装									
22.4.2 舗装の構成及び仕上り (22.4.3)	(1) アスファルト舗装の構成及び厚さ 下記による (重荷重対応の場合の詳細は、設計図による)	部位	交通量区分	舗装の厚さ(mm)		路盤の厚さ(mm)		備考			
				基層	表層	上層	下層				
		車道部	◆ N ₂	◆ 無 ○	◆ 50 ○	◆ 100 ○	◆ 150 ○	下記以外			
			● N ₃	◆ 40 ○	◆ 40 ○	◆ 100 ○	◆ 150 ○	敷地南側消防活動空地			
			○	○	○	○	○				
		歩行者系道路	—	◇ 無 ○	◇ 50 ○	◇ 100 ○					
		歩行者用通路	—	◇ 無 ○	◇ 30 ○	◇ 100 ○					
22.4.4 配合その他	(1) 加熱アスファルト混合物等の種類	地域別	● 一般地域			○ 寒冷地域					
		表層	◆ 密粒度アスファルト混合物(13) ○ 細粒度アスファルト混合物(13)			◇ 密粒度アスファルト混合物(13F) ○ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)					
		基層	粗粒度アスファルト混合物(20)								
22.4.6 試験	(3) アスファルト混合物等の抽出試験 ○ 適用する ● 適用しない										
5節 コンクリート舗装											
22.5.2 舗装の構成及び仕上 (22.5.3)	(1) コンクリート舗装等の構成及び厚さ 下記及び設計図による	部位	車両総重量	コンクリート版厚 (mm)	路盤の厚さ (mm)	設計基準強度 (N/mm ²)	所要スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)			
		車道部	20t超	◆ 250 ○	◆ 250 ○	◆ 24 ○	◆ 8 ○	◆ 砕石 (◆ 20又は25) ○ 砂利 (○ 25又は40) ○			
			10t超20t以下	◆ 200 ○	◆ 200 ○						
			10t以下	◆ 150 ○	◆ 150 ○						
		歩道部	—	◆ 70 ○ ○	◆ 100 ○ ○	◆ 18 ○ ○	◆ 8 ○ ○	◆ 砕石20 ○ 砂利20 ○			
22.5.4 施工	付加 (4) (エ) 真空コンクリート工法 ○ 適用する(施工箇所：) ● 適用しない										
22.5.6 試験	(1) コンクリート板の厚さの試験 ○ 適用する (箇所) ● 適用しない										
22.5.7 透水性	追補 (1) 透水性コンクリート舗装の仕様 設計図による										
		23.1.4 かん水設備									
		(23.5.4)									
		23.2.2 植栽基盤一般 (23.1.3)									
		23.1.4 付加									
		(1) かん水装置 ◇ 設置する ● 設置しない かん水方式と自動かん水装置の制御方式 下記による									
		かん水方式	自動かん水装置の制御方式	水質	施工箇所			備考			
		2節 植栽基盤									
		・ 植栽基盤の整備 下記による									
		樹木等の種類	樹高H(m)	有効土層の厚さ(cm)		整備範囲					
				上層土層	下層土層						
		高木	12以上	◇ 60 ○	◇ 40～90 ○	◇ 一本当たり基準面積※ ● 植栽地面積 ○ ○					
			7以上～12未満	◆ 60 ○	◆ 20～40 ○						
			3以上～7未満	◆ 40 ○	◆ 20～40 ○						
		低木	1以上～3未満	◆ 30～40 ○	◆ 20～30 ○	◇ 一本当たり基準面積※ ● 植栽地面積 ○ ○					
			1未満	◆ 30～40 ○	◆ 20～30 ○						
		芝、地被類		◆ 20～30 ○	◆ 10以上 ○	◆ 植栽地面積 ○					
		※ 基準面積は内外部仕上共通仕様による									
		(4)(5) 植栽基盤工法の種別 樹木 ○ A種 ◆ C種 ○ D種 芝及び地被類 ○ B種 ◆ C種 ○ D種									





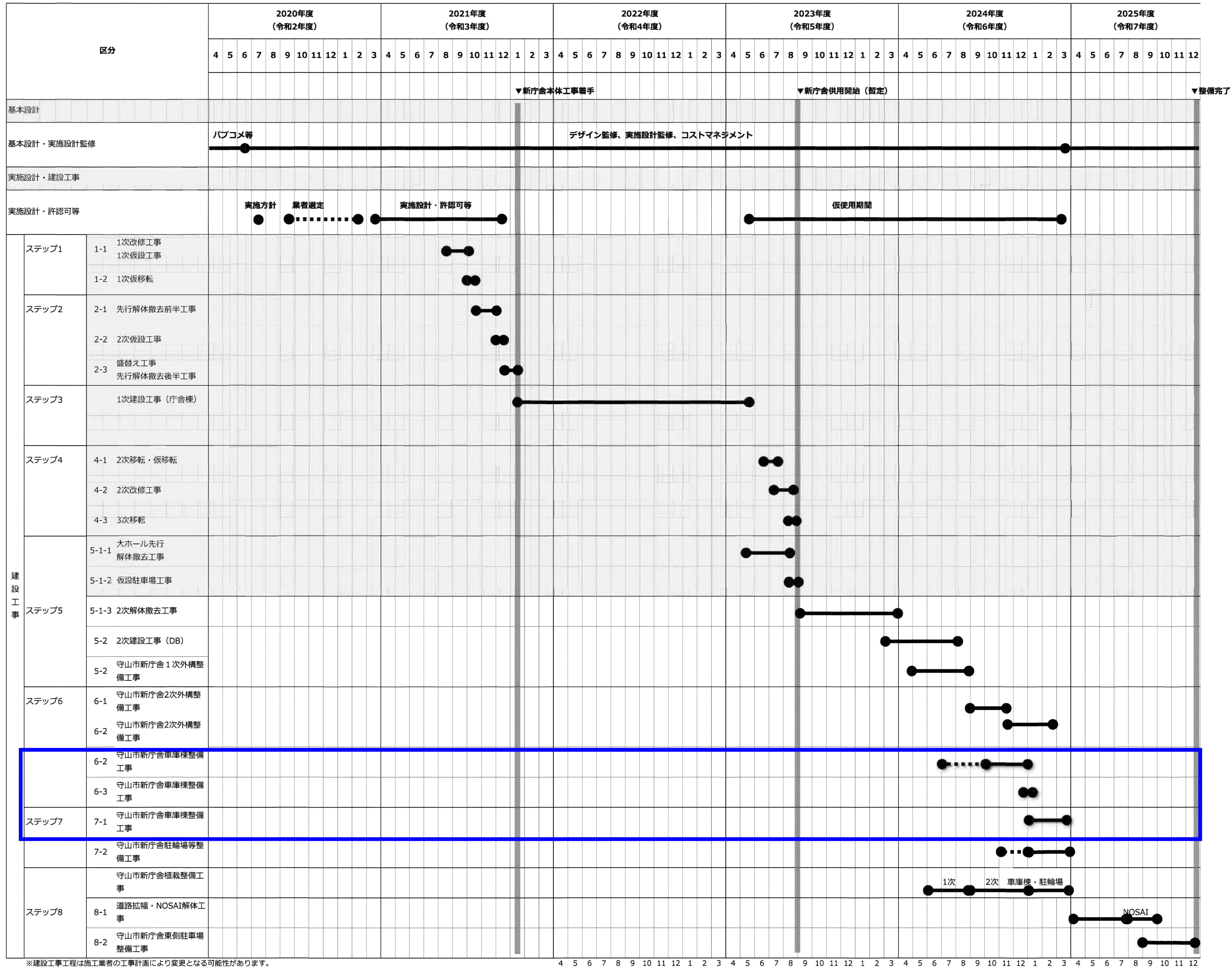
No.	建物名称	建設年	構造	延床面積	解体 要否	7.バスターミナル	備考
1	本館※	1965年	RC 4階	2,421㎡	○	○	No. 1 庁舎本館（守山総合ビル）設計図 S39年 No. 2 守山市役所空調改修工事 竣工図 S62年 No. 14 庁舎部分改修工事 竣工図 H15年
1-1	本館増築				○	○	
2	付属棟	1965年	S 1階	788㎡	○	○	No. 1 庁舎本館（守山総合ビル）設計図 S39年 No. 2 守山市役所空調改修工事 竣工図 S62年 No. 1 庁舎本館（守山総合ビル）設計図 S39年 No. 17 庁舎東棟改修工事 H10年
3	庁舎東棟	1965年	RC 3階	644㎡	○	○	No. 1 庁舎本館（守山総合ビル）設計図 S39年 No. 10 庁舎昇降機設置工事 竣工図 H8年 No. 4 庁舎新館空調設備改修工事 竣工図 H10年
4	大ホール※	1965年	RC 2階	498㎡	○	(※)	No. 1 庁舎本館（守山総合ビル）設計図 S39年
5	新館	1973年	RC 3階	2,175㎡	○	○	No. 10 庁舎昇降機設置工事 竣工図 H8年 No. 4 庁舎新館空調設備改修工事 竣工図 H10年
5-1	昇降機	1996年	S 3階	165㎡	○	○	No. 10 庁舎昇降機設置工事 竣工図 H8年
6	庁舎南棟	1997年	S 2階	368㎡	○	○	No. 8 庁舎南棟 出来高図 H9年
7	駐輪所	1996年	S 1階		○	○	No. 10 庁舎昇降機設置工事 竣工図 H8年
8	駐輪所	1996年	S 1階		○	○	No. 10 庁舎昇降機設置工事 竣工図 H8年
9	バス車庫（倉庫）		S 1階	270㎡	○	○	
10	物置				○	○	
11	貯蔵庫				○	○	
12	駐輪所				○	○	
13	駐輪所				○	○	
14	倉庫				○	○	
15	倉庫（車庫）				○	○	
16	車庫				○	○	
17	車庫				○	○	
18	物置				○	○	
19	物置				○	○	
20	物置				○	○	
21	喫煙所				○	○	
22	煙突		RC		○	○	
23	貯蔵庫				○	○	
24	貯蔵庫				○	○	
25	屋外便所		RC 1階		○	○	
26	車庫				○	○	
27	組合事務所				○	○	
28	ゴミ集積所		S 1階		○	○	
29	喫煙所 屋根・目隠し				○	○	
30	（欠番）						
31	防災倉庫		既製品物置	22㎡	○	○	*入札対象外
32	（欠番）						
33	（欠番）						
34	電話ボックス				○	○	
35	青年会議所		S 2階	776㎡	○	○	*入札対象外
36	貯蔵庫		CB 1階	45㎡	○	○	
37	シルバー人材センター		RC 2階		○	○	
38	駐輪所		既製品		○	○	
39	貯蔵庫		CB 1階		○	○	
40	駐輪所		S 1階		○	○	
41	物置				○	○	
42	倉庫		S 1階	140㎡	○	○	
43	カーポート		S 1階		○	○	
44	車庫		既製品	84㎡	○	○	
45	小屋			41㎡	○	○	
46	物置		既製品物置	29㎡	○	○	
47	物置		既製品物置	51㎡	○	○	
48	防災倉庫		既製品物置	67㎡	○	○	*基礎のみ対象
49	旧法務局		RC 1階		×	×	
50	車庫		CB 1階		○	○	
51	西棟	1970年	RC 3階	459㎡	×	×	
52	農済滋賀南部支店		RC 2階		×	×	
53	カーポート		既製品		×	×	
54	バス停		既製品		×	×	
55	物置		既製品	3.6㎡	○	○	
56	物置		既製品	13.8㎡	○	○	
57	仮ごみ置場				○	○	*基礎のみ対象 上物はリース、DBで撤去予定

※：税務課天井裏、議場、大ホールは調査済

· · · 撤去範圍

訂正						備考	鹿岡士法第二十条に基づく設計者の表示 鹿竹中工務店 須賀定邦 一級建築士登録 東京03(0)1987	作成	承認			名称	設計 NO	図面 NO
								23.06.30	大平 須賀			守山市新庁舎車庫棟整備工事	4230261	2
								発行	主担当		担当者	製図		
									片瀬 利行					
										配置図				
										縮尺 A1 1:500 A3 1:1,000				

【仮使用】概略工事工程

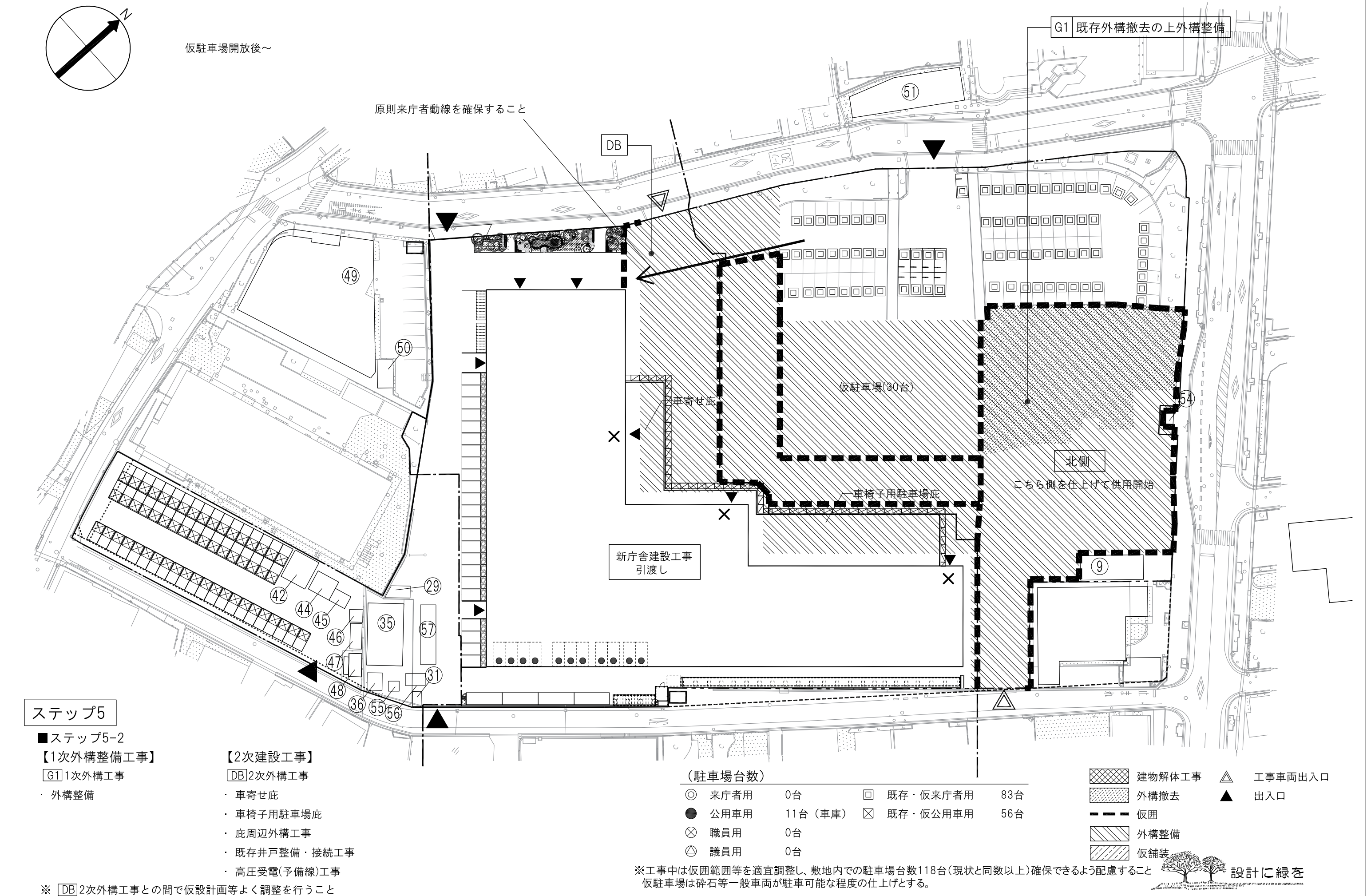
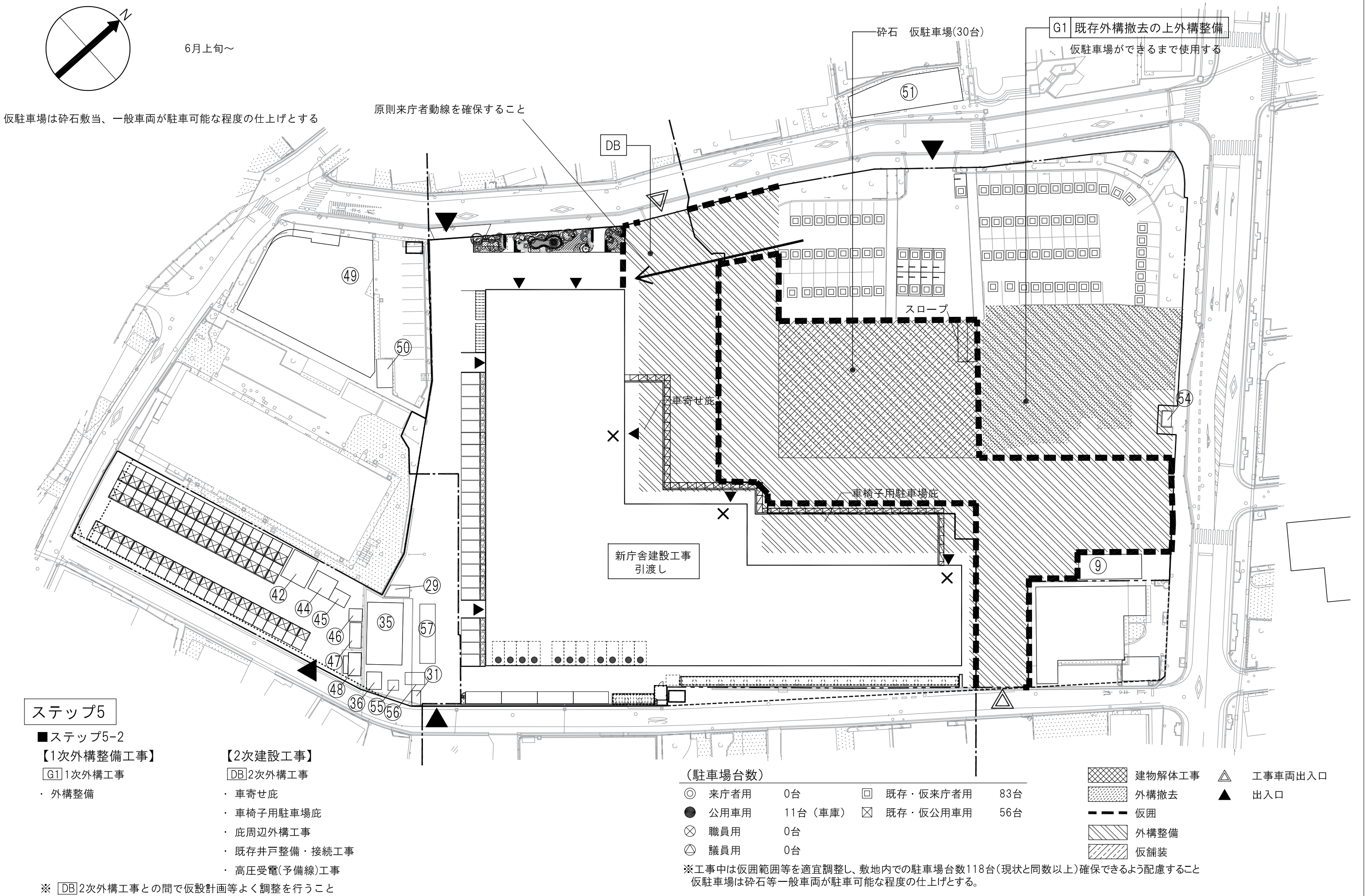
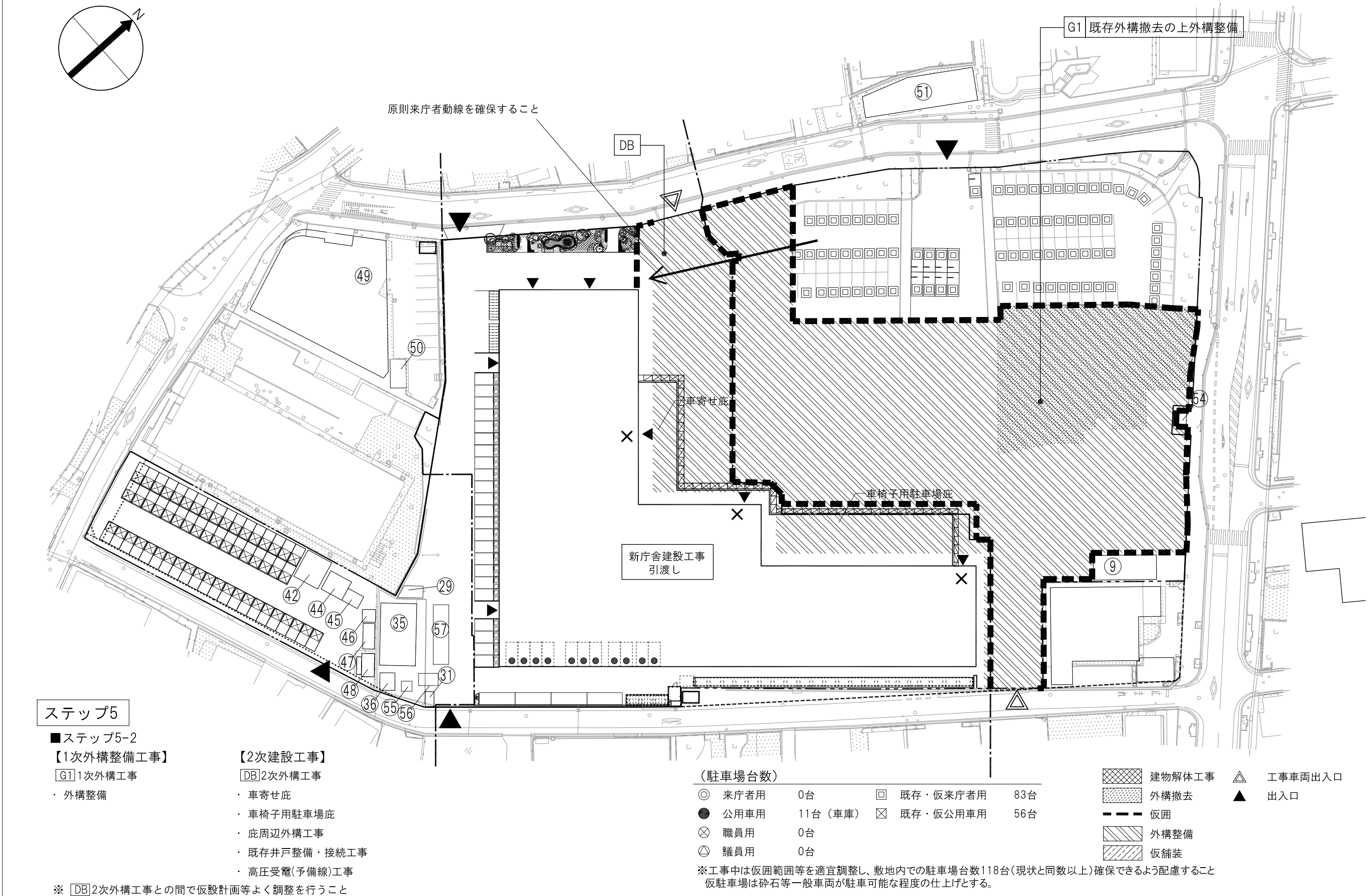
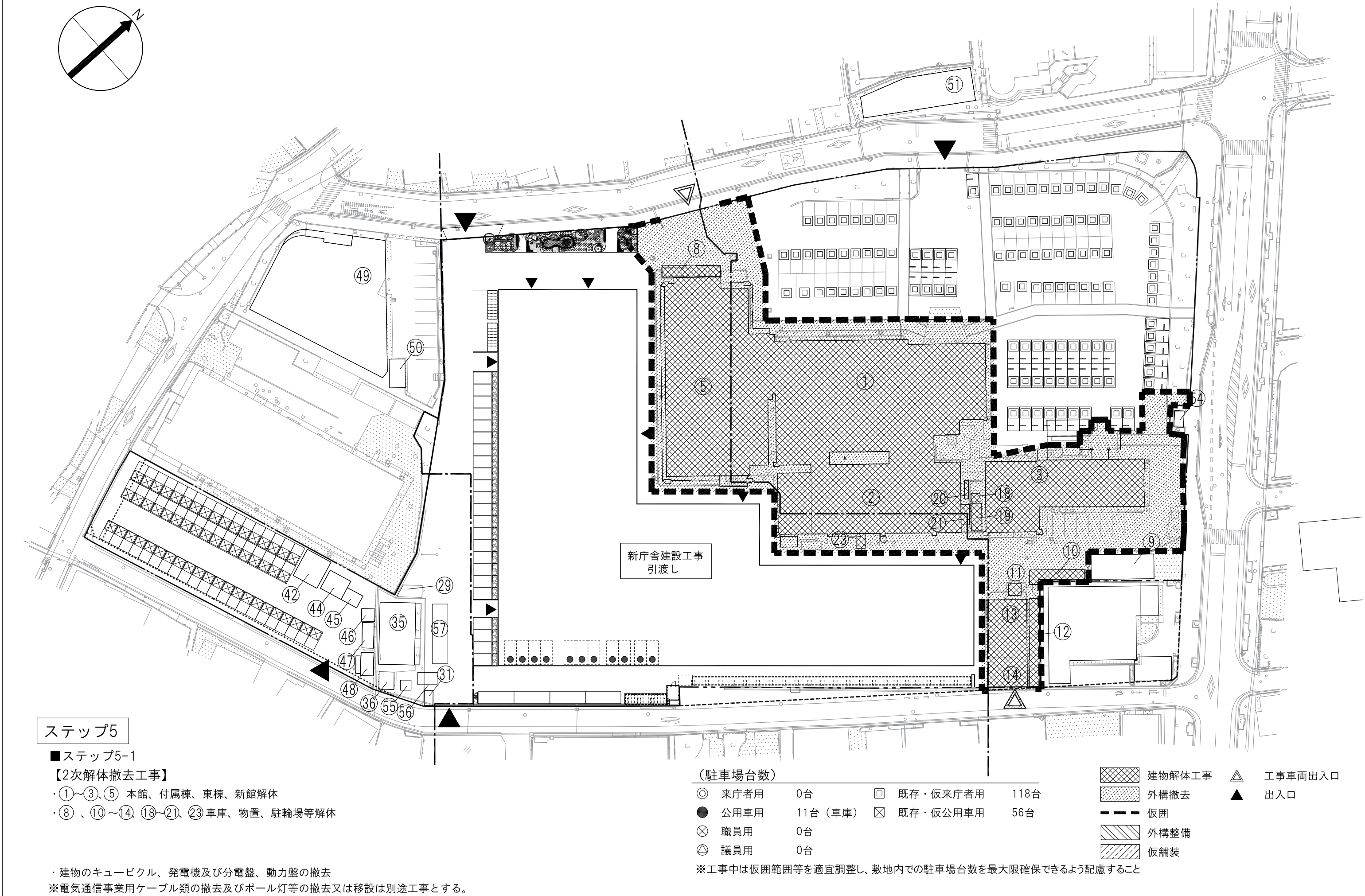


※建設工事工程は施工業者の工事計画により変更となる可能性があります。

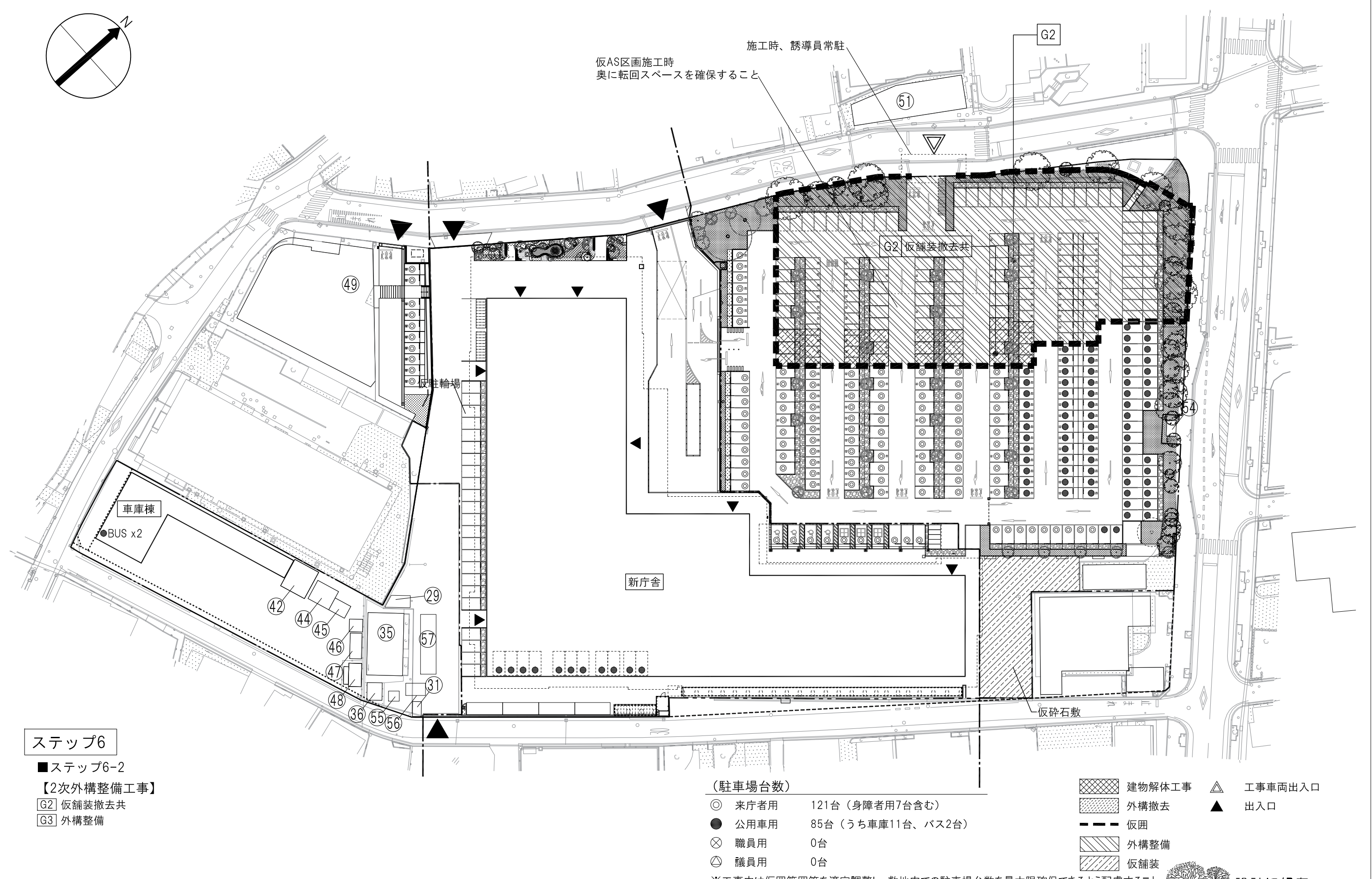
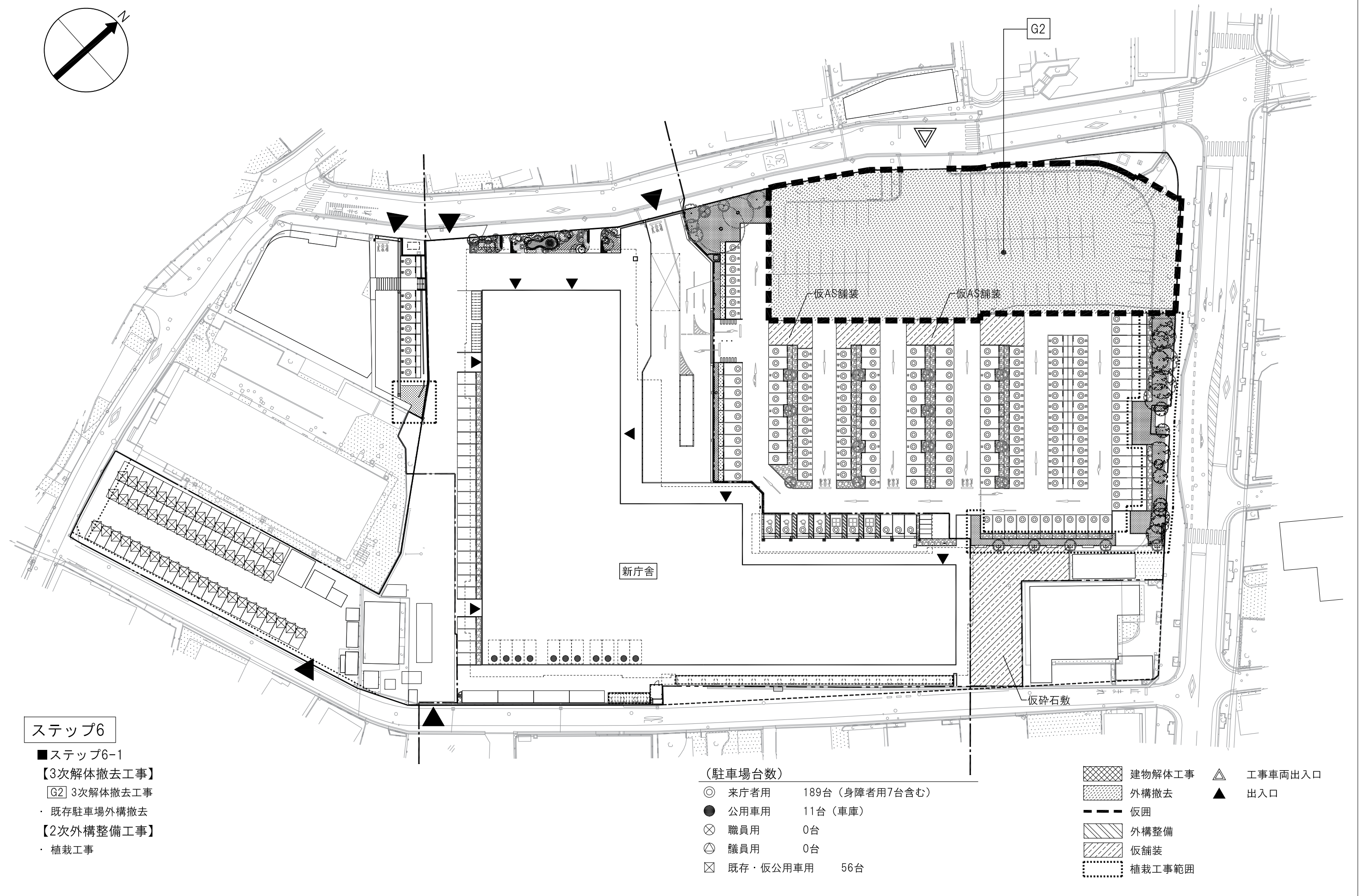
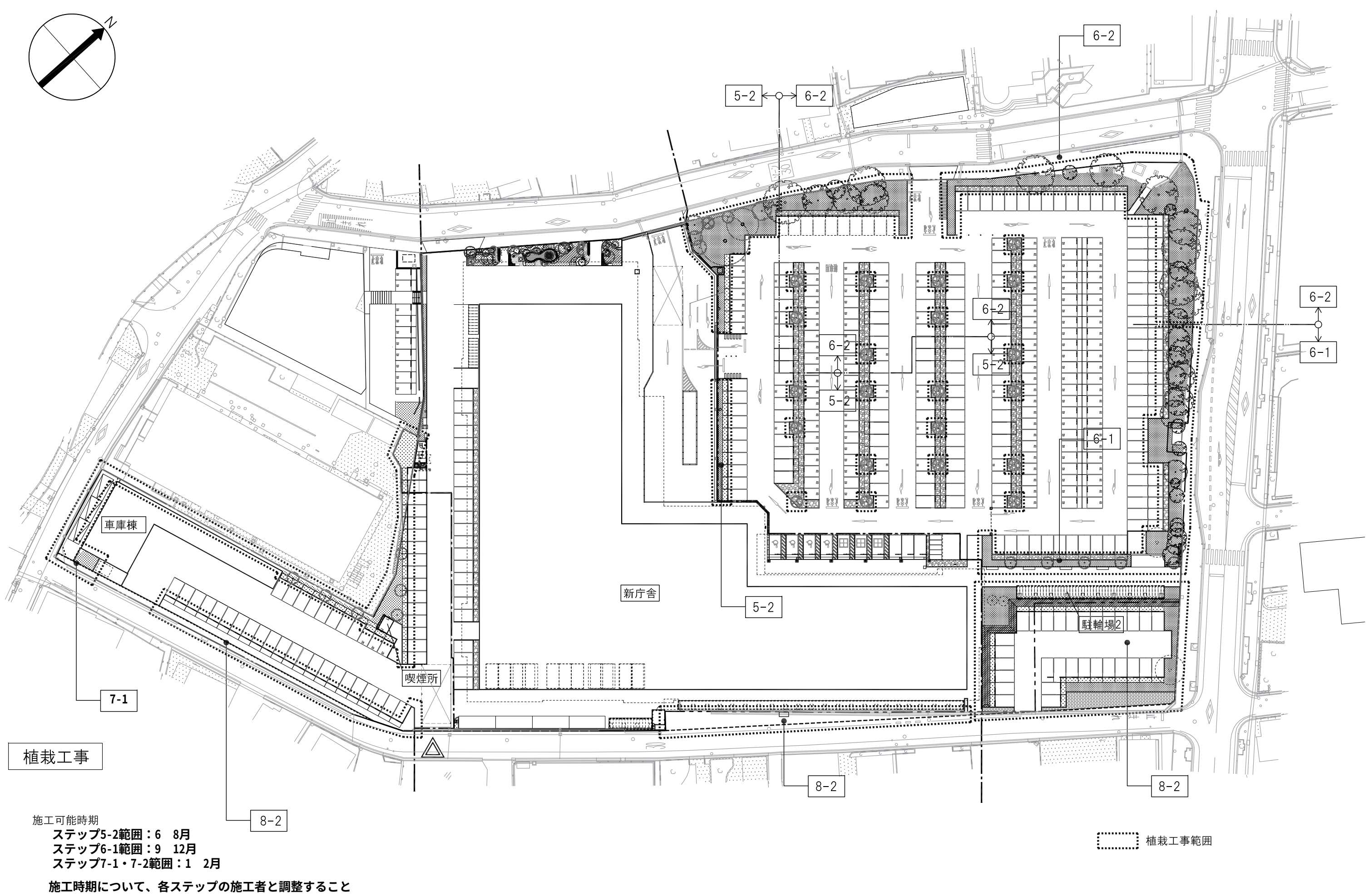
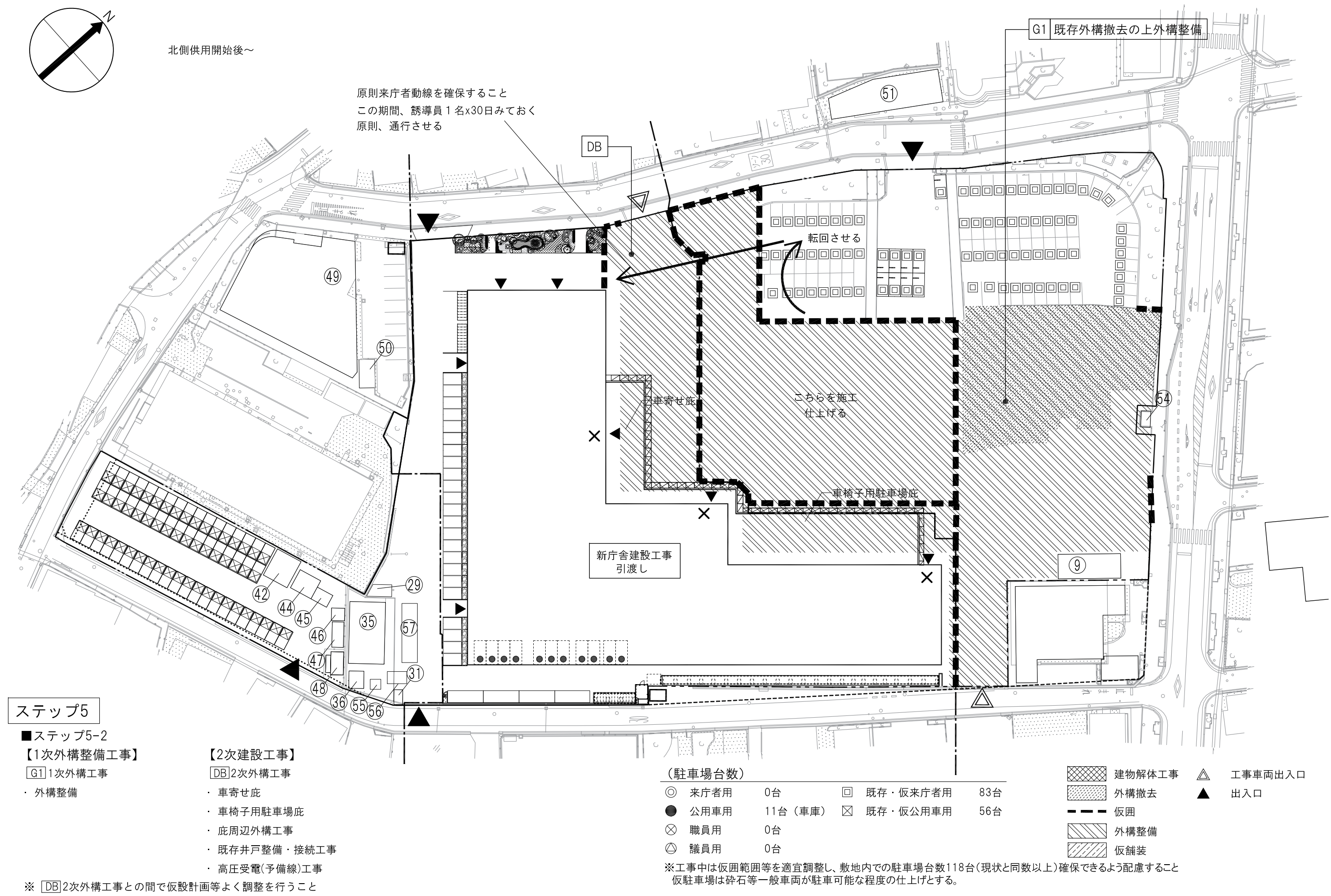
※新型コロナウイルス感染の拡大状況により、適宜スケジュールの見直しを行います。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

[illegible]

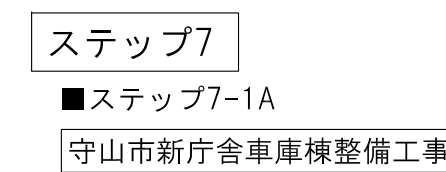


訂正				備考				作成				名称				設計NO				図面NO			
								23.06.30				大平 須賀				4230261				4			
								発行				片瀬 利行				ステップ図(1)				A1 1:300 A3 1:1,400			



訂正					備考	発行者	作成	承認	名称	設計NO	図面NO
						須賀定邦	23.06.30	大平 須賀	守山市新庁舎車庫棟整備工事	4230261	5
								片瀬 利行	ステップ図(2)	A1 1:300 A3 1:1,400	

12月に隣地で別途工事予定のため、11月中に足場解体のこと



- | 【3次建設工事】 | | （駐車場台数） | |
|----------|------|---------|-------------------|
| ・車庫棟、喫煙所 | 建設 | ◎ 来庁者用 | 189台（身障者用7台含む） |
| ・外構整備 | | ● 公用車用 | 85台（うち車庫11台、バス2台） |
| 【G3-A】 | 外構整備 | ⊗ 職員用 | 75台 |
| | | △ 議員用 | 0台 |

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
|  | 建物解体工事 |  | 工事車両出入口 |
|  | 外構撤去・整備 |  | 出入口 |
|  | 仮囲 | | |
|  | 外構整備 | | |
|  | 仮舗装 | | |

 建物解体工事  工事車両出入口
 外構撤去・整備  出入口
 仮囲い
 外構整備
 仮舗装

ステップ7

■ステップ7-10

守山市新庁舎車庫棟整備工事

- | | | | |
|-------------|----|---------|--------------------|
| 【3次建設工事】 | | (駐車場台数) | |
| ・ 車庫棟、喫煙所 | 建設 | ◎ 来庁者用 | 189台 (身障者用7台含む) |
| 【3次外構工事】 | | ● 公用車用 | 85台 (うち車庫11台、バス2台) |
| ・ G3-A 外構整備 | | ⊗ 職員用 | 75台 |
| | | △ 議員用 | 0台 |

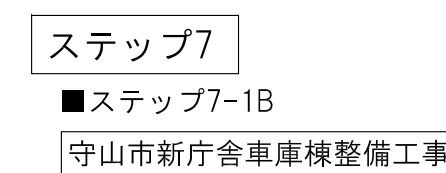
- | | | | |
|---|---------|---|---------|
|  | 建物解体工事 |  | 工事車両出入口 |
|  | 外構撤去・整備 |  | 出入口 |
| | 仮囲 | | |
|  | 外構整備 | | |
|  | 仮舗装 | | |

外傳上中下三卷附錄與年

よび職員も利用可能な仮設喫煙スペースを確保すること。

 建物解体工事  工事車両出入口
 外構撤去・整備  出入口
 仮囲い
 外構整備
 仮舗装

12月 1月
自治会倉庫建
(別途工事)



- | (駐車場台数) | |
|---------|-------------------|
| ◎ 来庁者用 | 121台（身障者用7台含む） |
| ● 公用車用 | 85台（うち車庫11台、バス2台） |
| ⊗ 職員用 | 0台 |
| ⊙ 議員用 | 0台 |

- | | | | |
|---|----------|---|---------|
|  | 建构筑物解体工事 |  | 工事車両出入口 |
|  | 外構撤去 |  | 出入口 |
|  | 仮囲 | | |
|  | 外構整備 | | |
|  | 仮舗装 | | |

 建物解体工事
  工事車両出入口
 外構撤去
  出入口
 仮囲い
 外構整備
 仮舗装

| 備 註 |

ステップ7

■ステップ7-1D

守山市新庁舎車庫棟整備工事

- | (駐車場台数) | | |
|---------|------|-------------------|
| ◎ | 来庁者用 | 121台（身障者用7台含む） |
| ● | 公用車用 | 85台（うち車庫11台、バス2台） |
| ⊗ | 職員用 | 0台 |
| △ | 議員用 | 0台 |

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
|  | 建构筑物工事 |  | 工事車両出入口 |
|  | 外構撤去 |  | 出入口 |
|  | 仮囲 | | |
|  | 外構整備 | | |
|  | 仮舗装 |  | |

竹中工務店 建築士法第二十条に基づく設計者の表示
須賀定邦 一級建築士登録
第298316号

大平 須賀

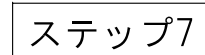
担 当	製
-----	---

縮尺 A1 1:700

図面 NO
1

6

後3~4_工事図.DWG 2024/03/29



■ステップ7-2

守山市新庁舎駐輪場等整備工事

【3次外構工事】

- ・ G3-B 外構整
- ・ 駐車場2設置

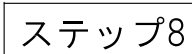
G3-B 4次解体撤去工事(北側)

- ・ ⑨ 倉庫

(駐車場台数)

- | | |
|--------|-------------------|
| ◎ 来庁者用 | 189台（身障者用7台含む） |
| ● 公用車用 | 85台（うち車庫11台、バス2台） |
| ⊗ 職員用 | 127台 |
| △ 議員用 | 20台 |

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
|  | 建物解体工事 |  | 工事車両出入口 |
|  | 外構撤去・整備 |  | 出入口 |
|  | 仮囲い | | |
|  | 外構整備 | | |
|  | 仮舗装 | | |



守山市新庁舎東側駐車場整備工事

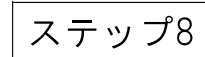
■ステップ8-2

G4 農濟跡地外構工事

(駐車場台数)

- | | |
|--------|-------------------|
| ◎ 来庁者用 | 189台（身障者用7台含む） |
| ● 公用車用 | 85台（うち車庫11台、バス2台） |
| ⊗ 職員用 | 157台 |
| △ 議員用 | 20台 |

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
|  | 建物解体工事 |  | 工事車両出入口 |
|  | 外構撤去 |  | 出入口 |
| | 仮囲い | | |
|  | 外構整備 | | |
|  | 仮舗装 | | |



道路拡幅・NOSAI解体工事

■ステップ8-1

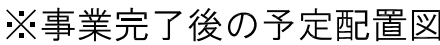
- ・ ⑤② 農濟滋賀南部支店 解体 (別途工事)
- ・ 道路地盤工事 (別途工事)

是轴对称图形。(判断题)

(駐車場台数)

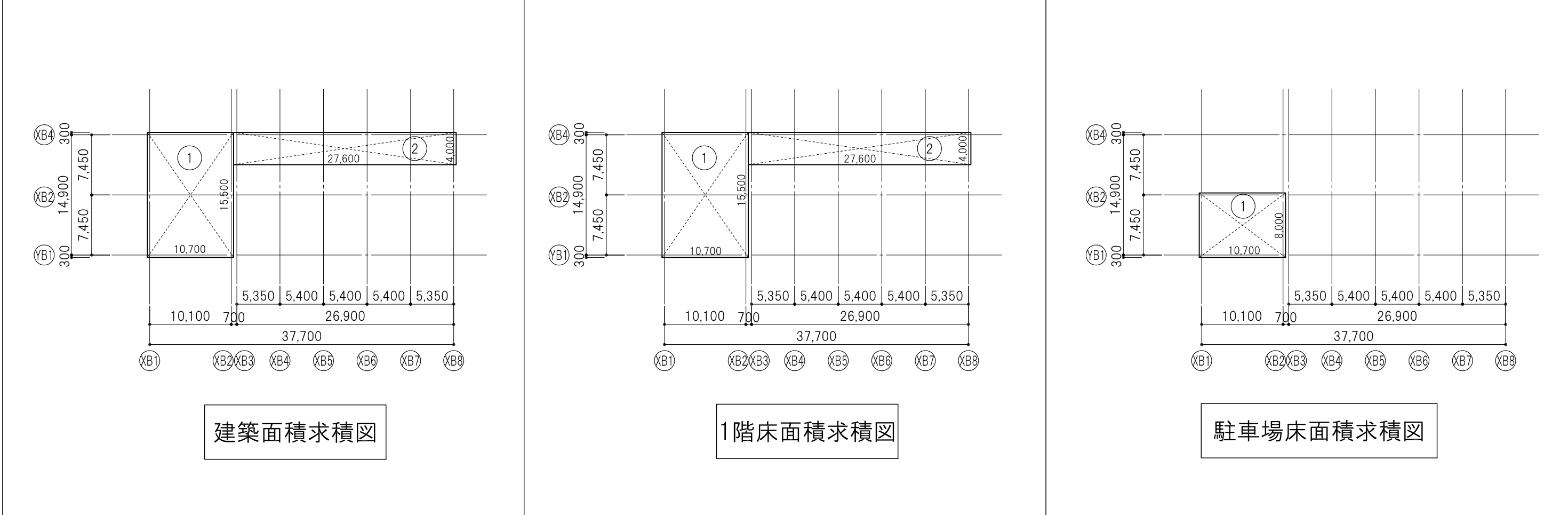
- | | |
|--------|-------------------|
| ◎ 来庁者用 | 189台（身障者用7台含む） |
| ● 公用車用 | 85台（うち車庫11台、バス2台） |
| ⊗ 職員用 | 127台 |
| △ 議員用 | 20台 |

- | | | | |
|---|--------|---|---------|
|  | 建物解体工事 |  | 工事車両出入口 |
|  | 外構撤去 |  | 出入口 |
|  | 仮囲 | | |
|  | 外構整備 | | |
|  | 仮舗装 | | |
|  | 道路拡幅工事 | | |

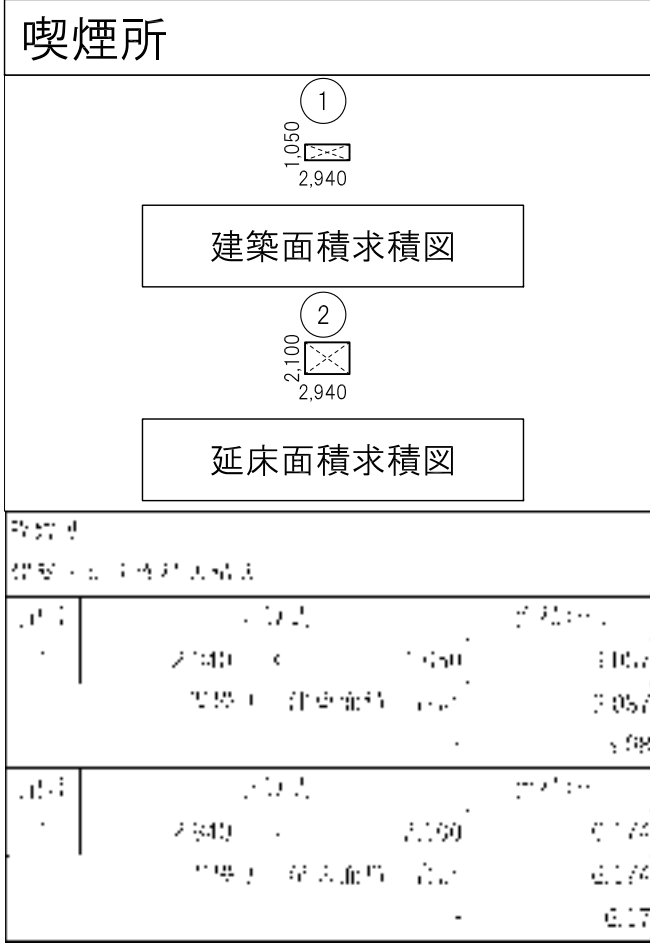


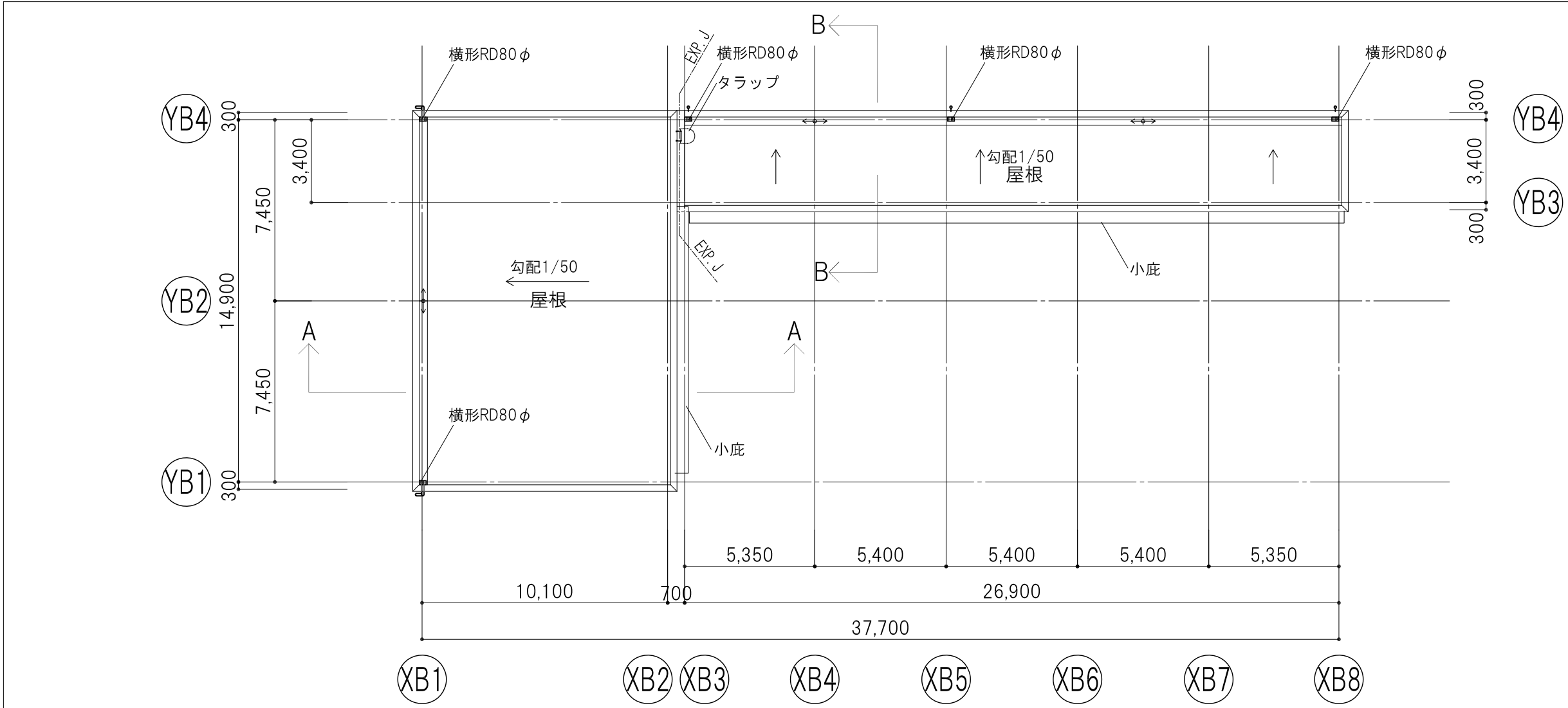
股 計 NO 4230261	図 面 NO 4-2

車庫棟

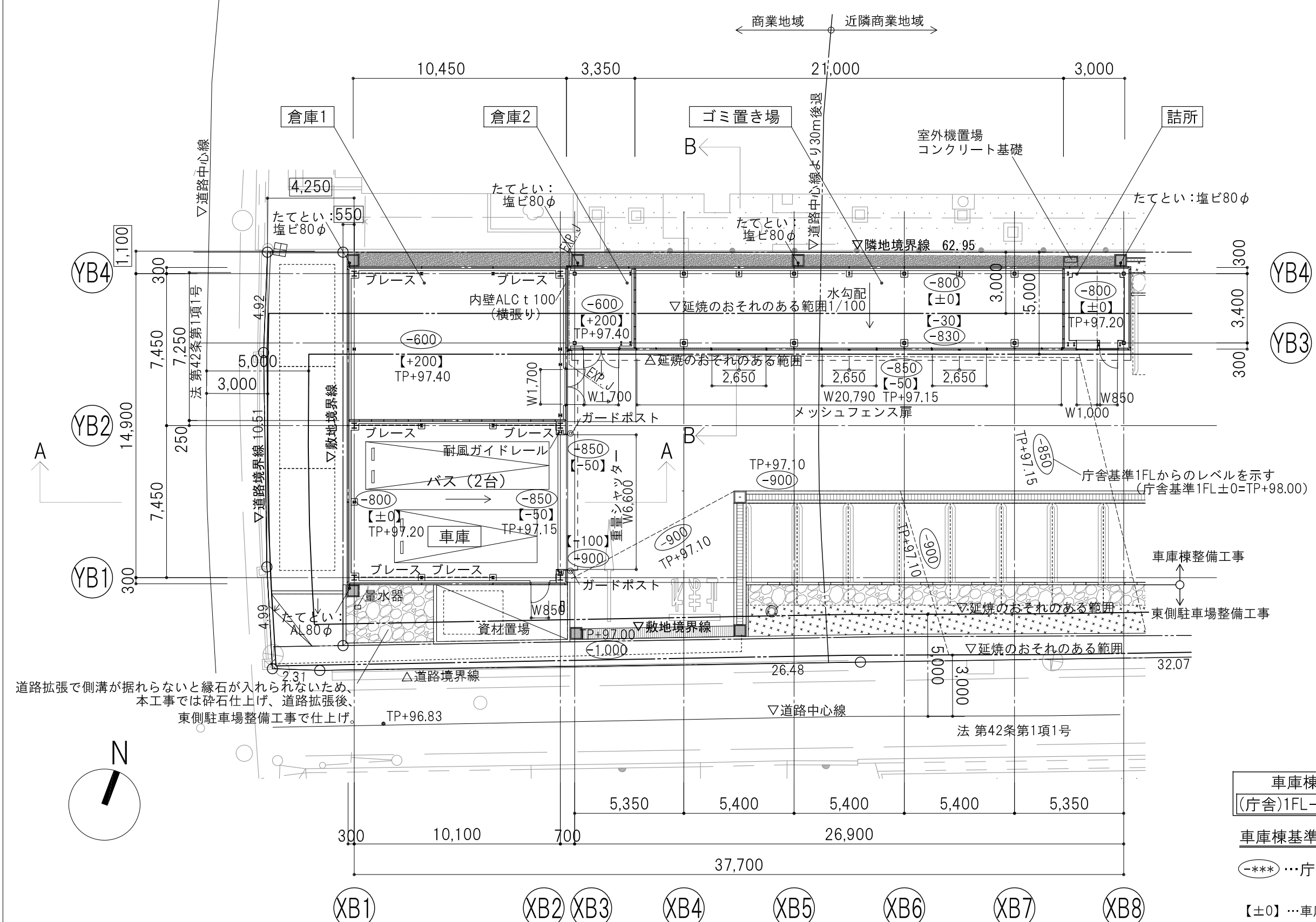


車庫棟 建築面積求積表			1階床面積求積表			駐車場床面積求積表		
区分	計算式	面積(m ²)	区分	計算式	面積(m ²)	区分	計算式	面積(m ²)
1	10,700 × 15,500	165,850	1	10,700 × 15,500	165,850	1	10,700 × 4,000	85,600
2	27,600 × 4,000	110,400	2	27,600 × 4,000	110,400			
車庫棟 建築面積 合計		276,250	車庫棟 1階床面積 合計		276,250	駐車場床面積 合計		85,600
		276.25			276.25			85.60

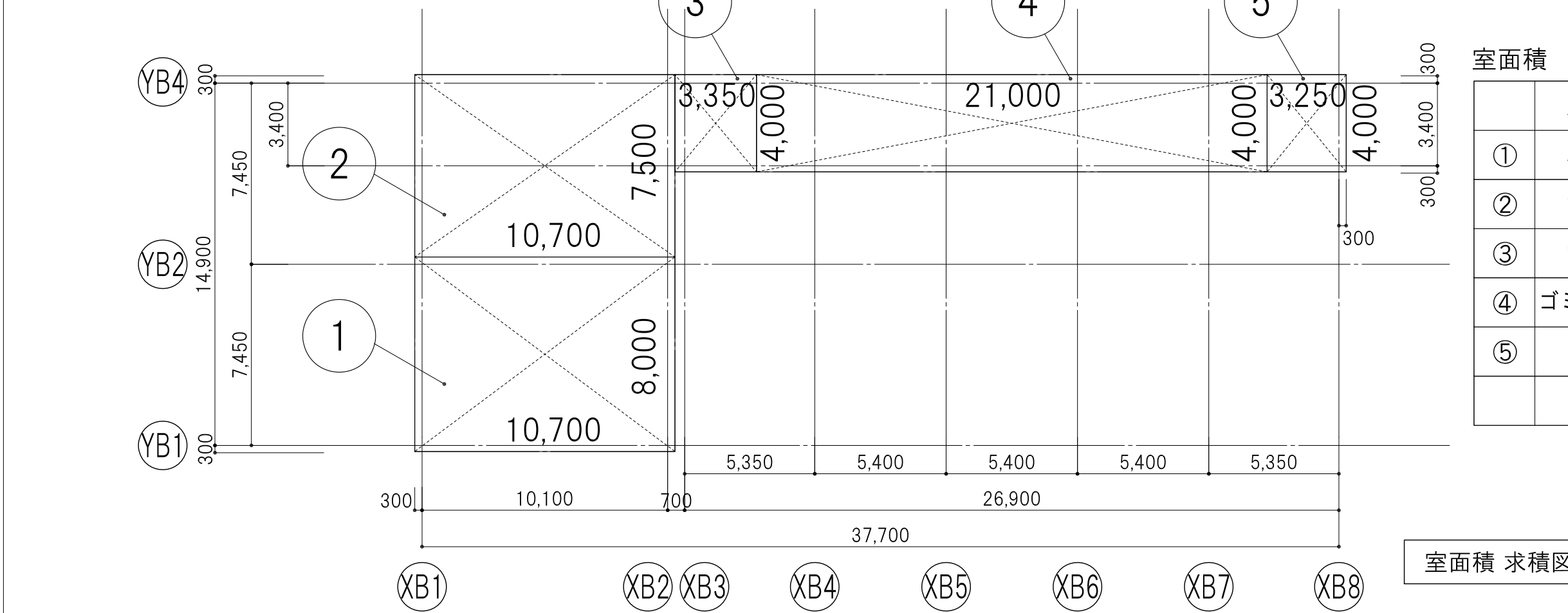




屋根伏図



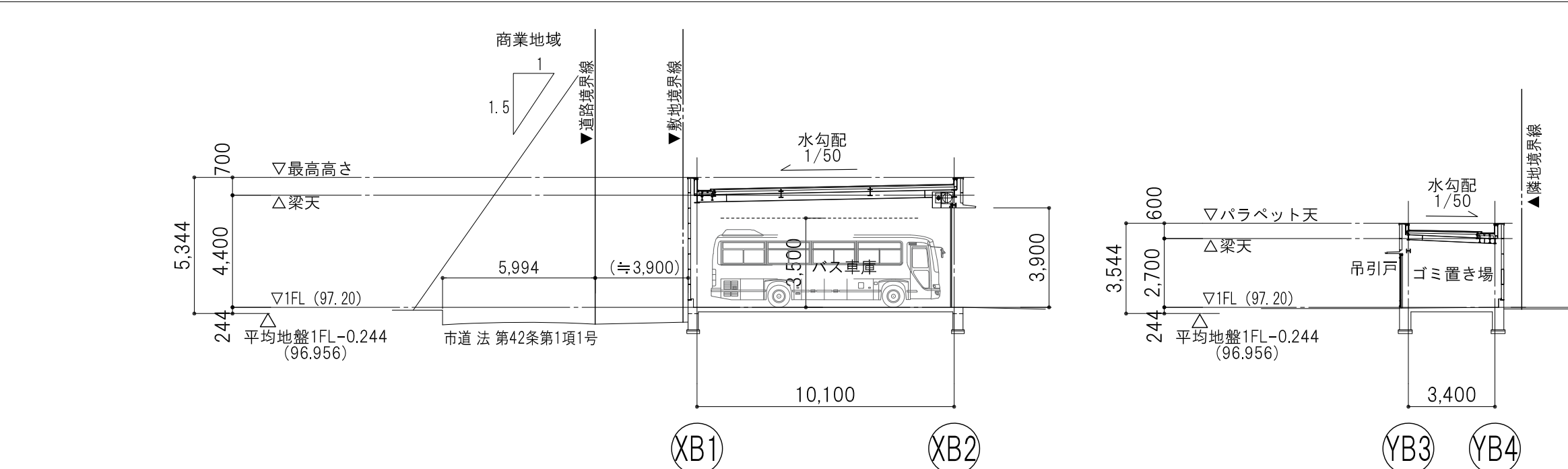
1階平面図



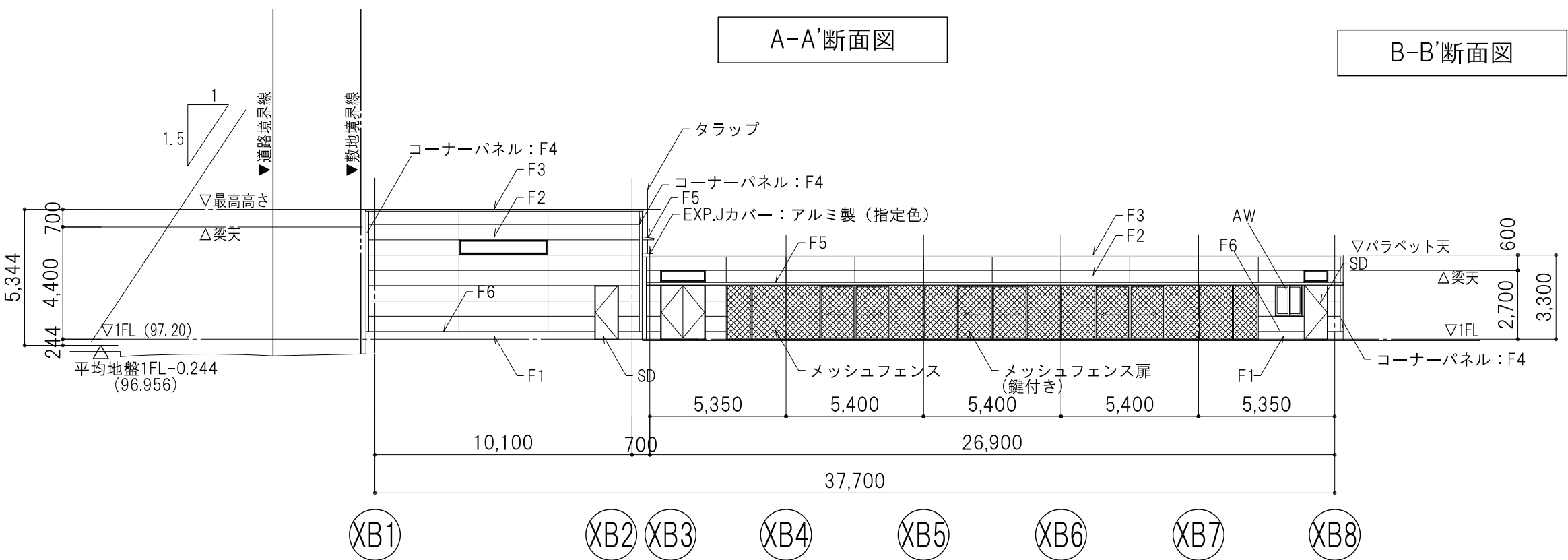
室面積 求積図

室面積

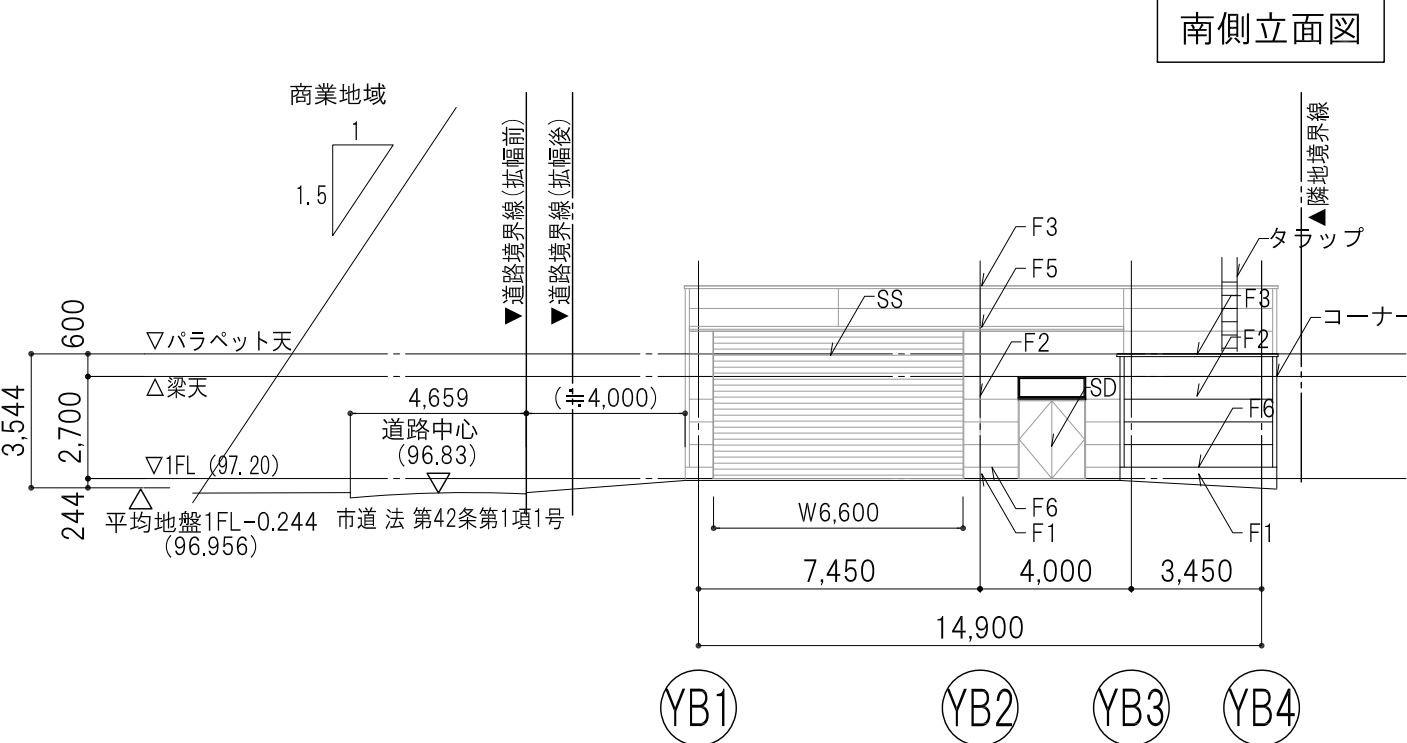
	室名	計算式	面積
①	車庫	10.70 x 8.00	85.60 ㎡
②	倉庫1	10.70 x 7.50	80.25 ㎡
③	倉庫2	3.35 x 4.00	13.40 ㎡
④	ゴミ置き場	21.00 x 4.00	84.00 ㎡
⑤	詰所	3.25 x 4.00	13.00 ㎡



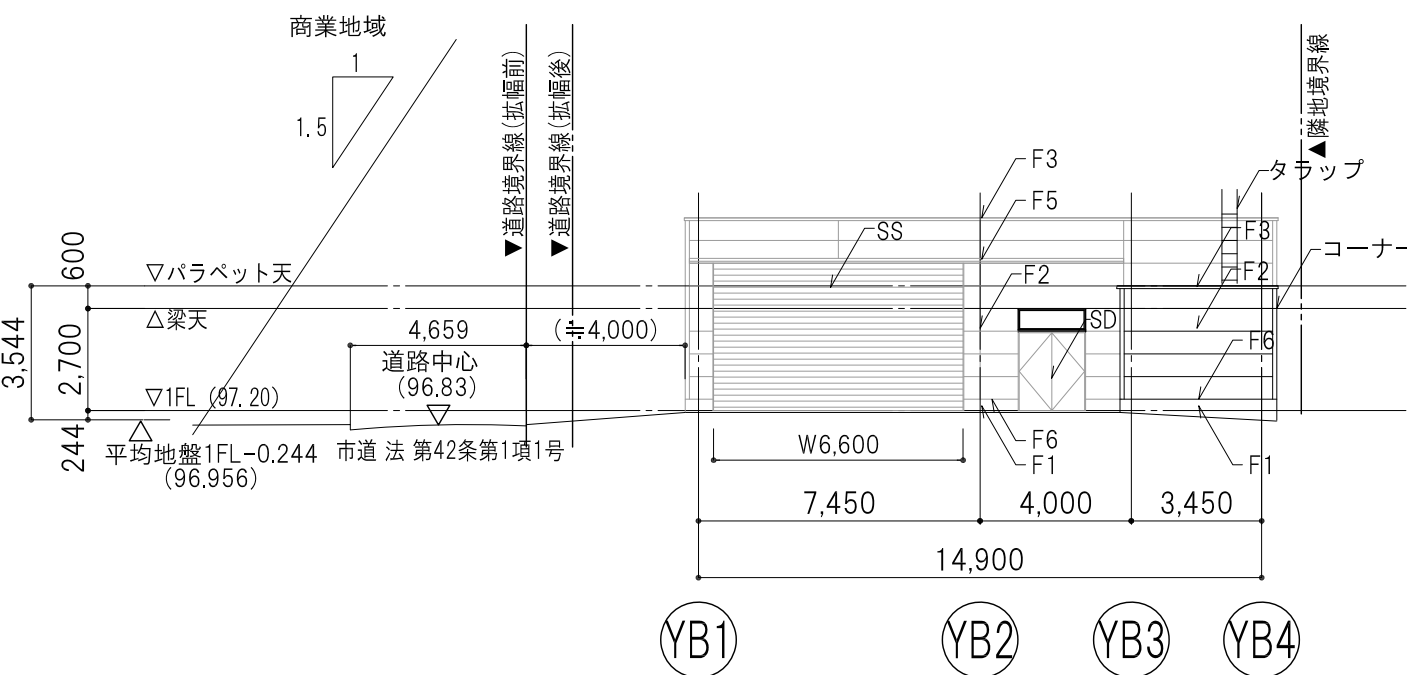
A-A'断面図



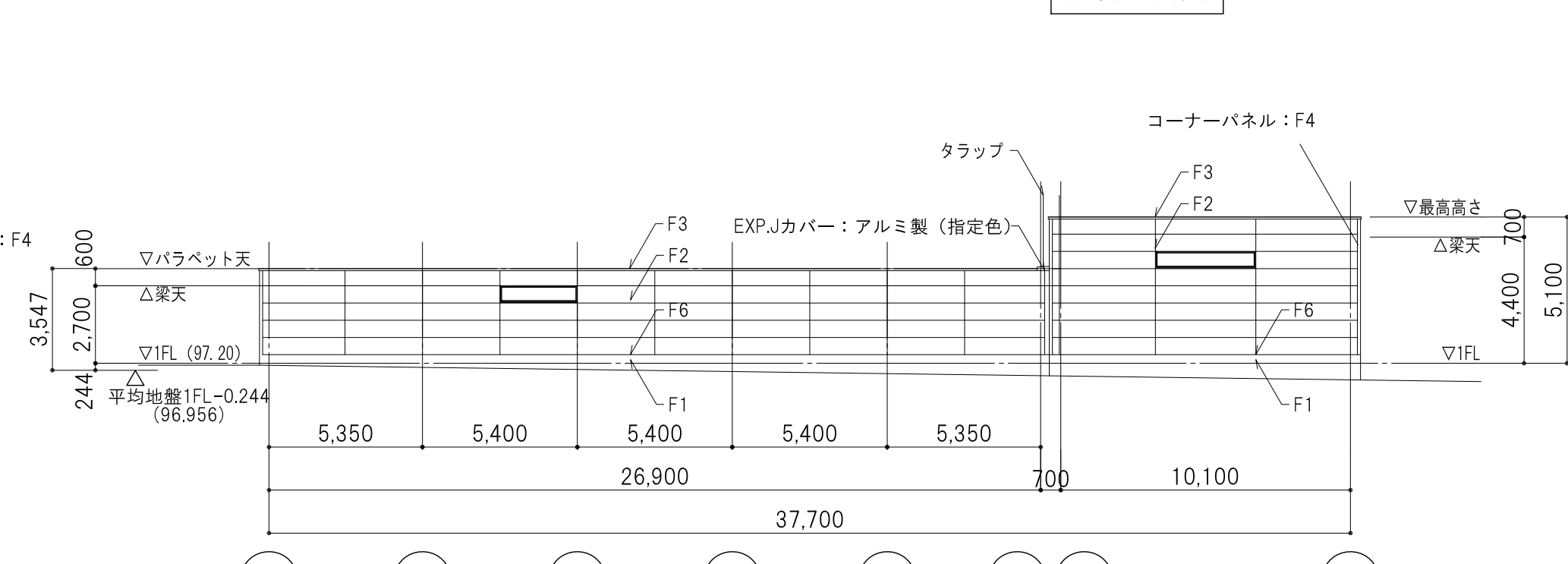
B-B'断面図



南側立面図

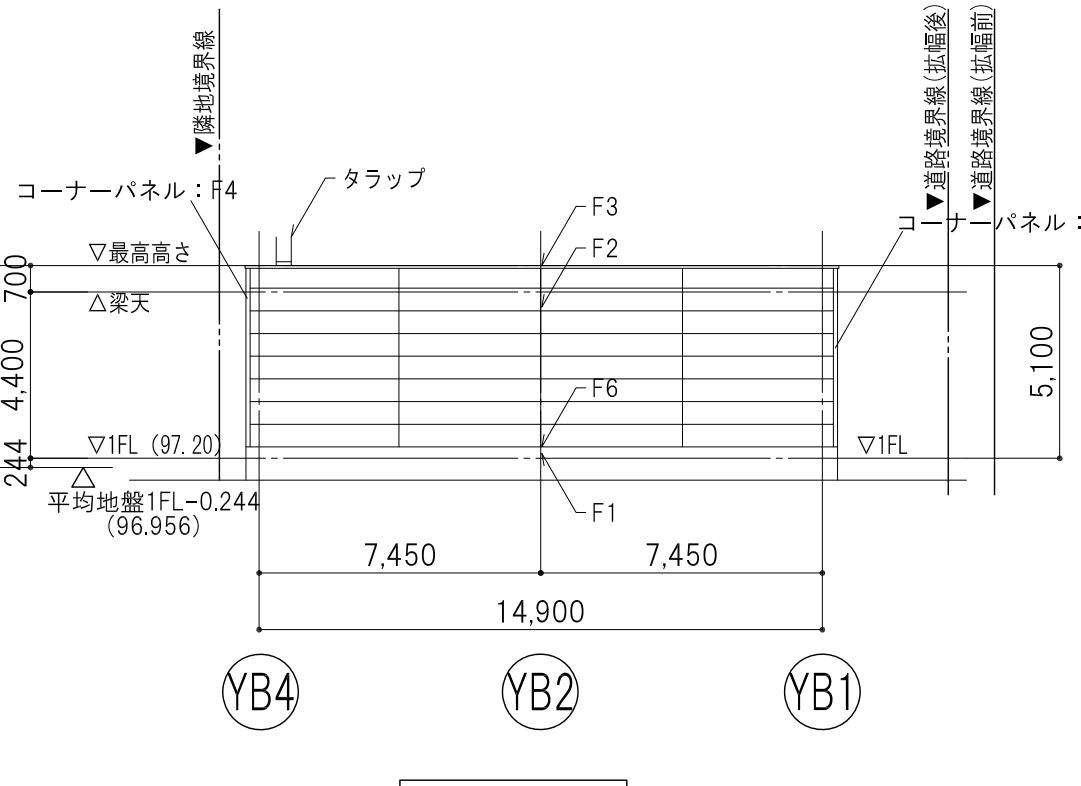


東側立面図



北側立面図

外部仕上	
屋根	デッキプレートの上断熱ボード+シート防水
AW	アルミ製サッシ 二次電解着色※ 透明板ガラスまたは型板ガラス
SD	鋼製扉 フッ素樹脂塗装
SS	電動式シャッター スラット：フッ素樹脂塗装
軽量SS	手動式軽量シャッター スラット：フッ素樹脂塗装
F1	RC立上：吹付タイル仕上
F2	ALCパネル：吹付タイル仕上
F3	アルミ笠木：フッ素樹脂焼付塗装
F4	アルミパネル t2.0加工 フッ素樹脂焼付塗装
F5	小庇：アルミパネル t2.0加工 フッ素樹脂焼付塗装
F6	水切：アルミパネル t1.2加工 フッ素樹脂焼付塗装

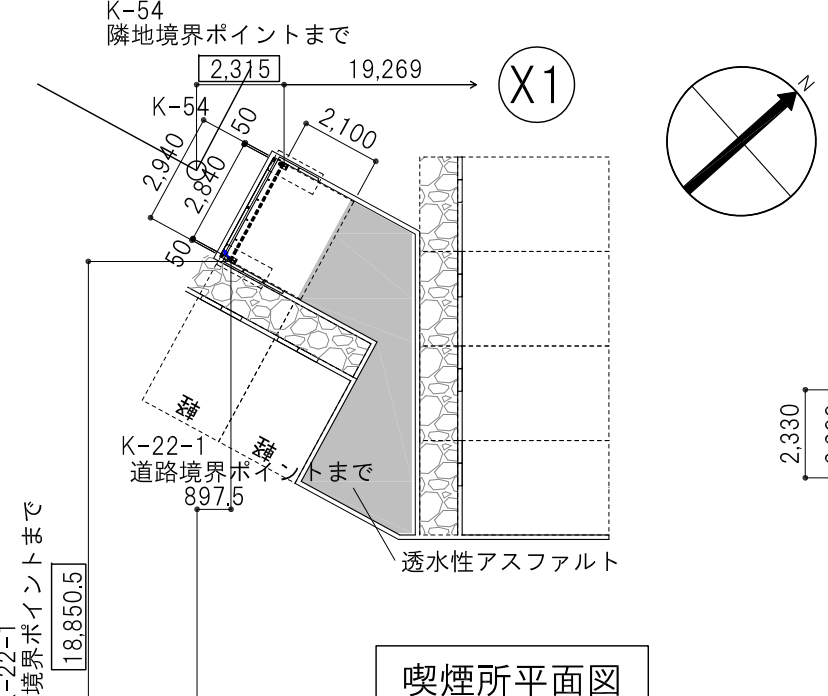


西側立面図

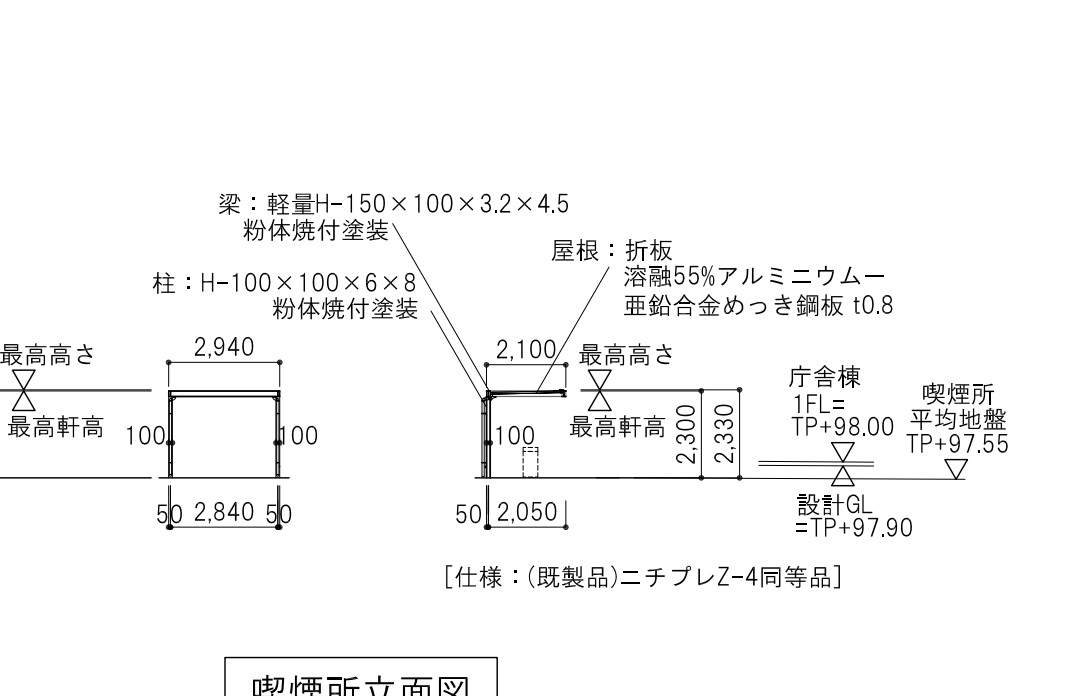
内部仕上表

室名	内装制限種別	排煙方式	危険根拠	レベル			床			幅木		壁			天井			廻り縁	備考
				床仕上高	床スラブ高	天井高	仕上	下地	防水種別	仕上	高さ	壁：仕上	下地	認定番号	仕上	下地	認定番号		
車庫	—	—	—	±0~-50	±0~-50	直天	コンクリート直押えの上 合金骨材配合散布型 耐久床仕上材	-	-	床仕上げ	H=100	素地	-	-	素地	-	-	-	重量シャッター
倉庫1	—	—	—	+200	+200	直天	コンクリート直押えの上 防塵塗装	-	-	床仕上げ立上げ	H=100	素地	-	-	素地	-	-	-	-
倉庫2	—	—	—	+200	+200	直天	コンクリート直押えの上 防塵塗装	-	-	床仕上げ立上げ	H=100	素地	-	-	素地	-	-	-	-
ゴミ置き場	—	—	—	±0~-30	±0~-30	直天	コンクリート直押えの上 防塵塗装	-	-	床仕上げ立上げ	H=100	素地	-	-	素地	-	-	-	-
結所	<<不>>	—	告示ニ (4)	—	-10	2,400	モルタル下地の上 ビニル床シート	モルタル	-	ビニル幅木	H=100	GB-R t=12.5+12.5 EP-G	LGS	NM-8585	不燃化粧石膏ボード t12.5 ※不燃化粧材 C=100×50×20×2.3 ※900（建築工事）	LGS	NM-1864	幅木	アルミサッシ内プライド （木工事） 家具（別途工事）

喫煙所

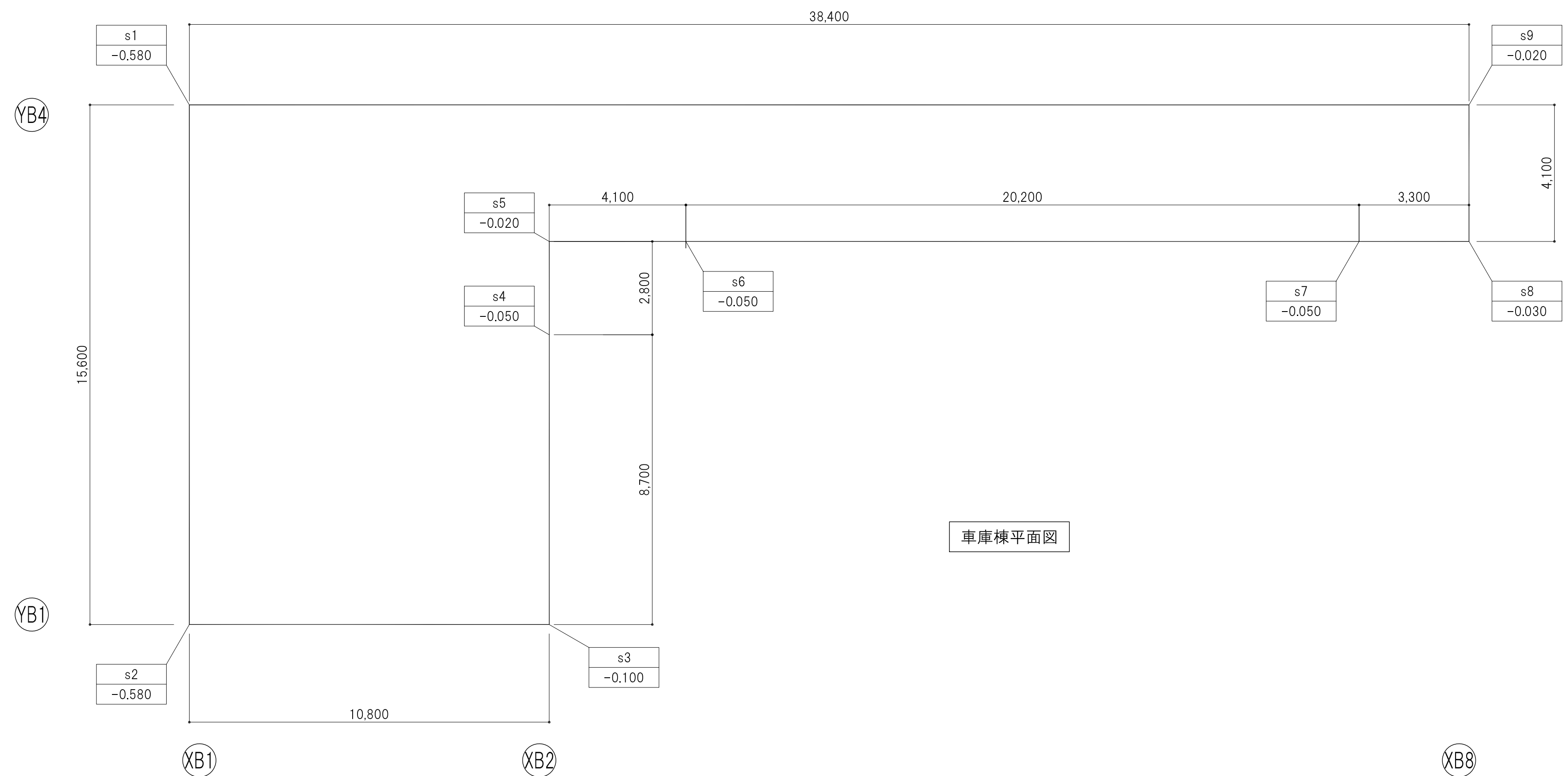


喫煙所平面図



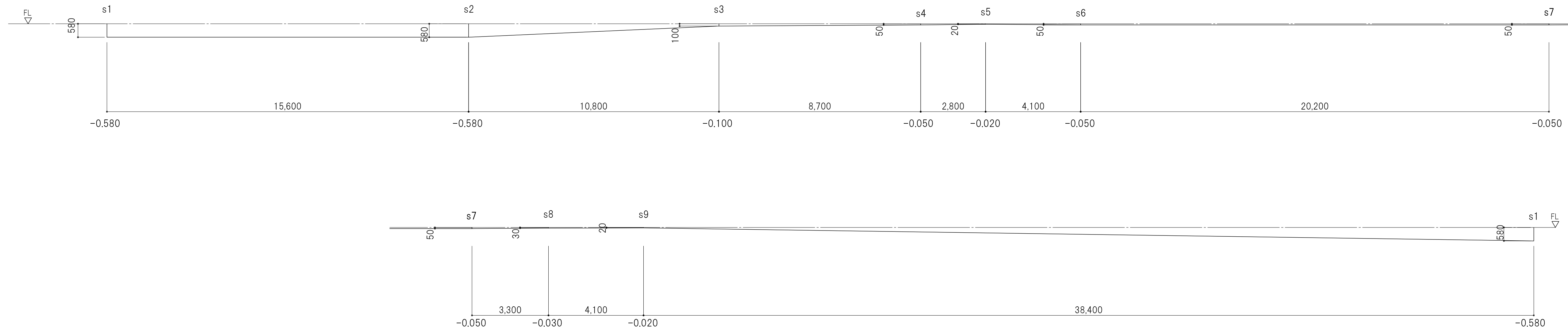
喫煙所立面図

訂正				備考				製 作				名 称				図 面			
23.06.30				大平 須賀				守山市新庁舎車庫棟整備工事				設計 NO				図 面 NO			
発行				片瀬 利行				車庫棟 喫煙所 平面図・立面図・断面図				A1 1:200 A3 1:400				4230261			
																17			



平均地盤(車庫様)				
No	L	L	L	S
s5	4.100	3.180	3.180	-0.44
s5	3.100	3.180	3.100	-0.14
s5	3.100	3.100	3.000	-0.14
s5	4.100	3.000	3.000	-0.44
s5	4.100	3.000	3.000	-0.14
s6	103.000	103.000	103.000	-26.37
s6	103.000	103.000	103.000	-26.37
s6	4.100	3.000	3.000	-26.37
s6	103.000	103.000	103.000	-26.37
TOTAL	108.000			-26.37
レベル (ΣS/ΣL)				-0.244
平均地盤算定面			1FL	0.004
平均地盤算定面			1FL	-0.244
※S=Lx (H1+H2)÷2				

(車庫棟基準)1FL±0=TP+97.20
1FL-0.244=TP+96.956…平均地盤レベル



1 外構 車路舗装-A アスファルト舗装 T6/T25 N220aR* 1:10

2 外構 駐車場舗装 透水性 T6/T25 N210aR* 1:10

3 外構 歩道舗装-A カラー舗装 歩道部 N250aR* 1:10

4 外構 歩道舗装-B カラー舗装 T25 N250aR* 1:10

5 外構 コンクリート舗装 コンクリート舗装 T6 1:10

6 外構 砂利敷き

7 外構 タイヤ止め

8 外構 その他

9 外構 白線引き

10 外構 その他

11 外構 石縁石（ロータリー中央部）

12 外構 石縁石（ロータリー中央部）

13 外構 ボード

14 外構 V型溝

15 外構 透水性アスファルト舗装

16 外構 排水施設

17 正

18 正

19 正

20 正

21 正

22 正

23 正

24 正

25 正

26 正

27 正

28 正

29 正

30 正

31 正

32 正

33 正

34 正

35 正

36 正

37 正

38 正

39 正

40 正

41 正

42 正

43 正

44 正

45 正

46 正

47 正

48 正

49 正

50 正

51 正

52 正

53 正

54 正

55 正

56 正

57 正

58 正

59 正

60 正

61 正

62 正

63 正

64 正

65 正

66 正

67 正

68 正

69 正

70 正

71 正

72 正

73 正

74 正

75 正

76 正

77 正

78 正

79 正

80 正

81 正

82 正

83 正

84 正

85 正

86 正

87 正

88 正

89 正

90 正

91 正

92 正

93 正

94 正

95 正

96 正

97 正

98 正

99 正

100 正

101 正

102 正

103 正

104 正

105 正

106 正

107 正

108 正

109 正

110 正

111 正

112 正

113 正

114 正

115 正

116 正

117 正

118 正

119 正

120 正

121 正

122 正

123 正

124 正

125 正

126 正

127 正

128 正

129 正

130 正

131 正

132 正

133 正

134 正

135 正

136 正

137 正

138 正

139 正

140 正

141 正

142 正

143 正

144 正

145 正

146 正

147 正

148 正

149 正

150 正

151 正

152 正

153 正

154 正

155 正

156 正

157 正

158 正

159 正

160 正

161 正

162 正

163 正

164 正

165 正

166 正

167 正

168 正

169 正

170 正

171 正

172 正

173 正

174 正

175 正

176 正

177 正

178 正

179 正

180 正

181 正

182 正

183 正

184 正

185 正

186 正

187 正

188 正

189 正

190 正

191 正

192 正

193 正

194 正

195 正

196 正

197 正

198 正

199 正

200 正

201 正

202 正

203 正

204 正

205 正

206 正

207 正

208 正

209 正

210 正

211 正

212 正

213 正

214 正

215 正

216 正

217 正

218 正

219 正

220 正

221 正

222 正

223 正

224 正

225 正

226 正

227 正

228 正

229 正

230 正

231 正

232 正

233 正

234 正

235 正

236 正

237 正

238 正

239 正

240 正

241 正

242 正

243 正

244 正

245 正

246 正

247 正

248 正

249 正

250 正

251 正

252 正

253 正

254 正

255 正

256 正

257 正

258 正

259 正

260 正

261 正

262 正

263 正

264 正

265 正

266 正

267 正

268 正

269 正

270 正

271 正

272 正

273 正

274 正

275 正

276 正

277 正

278 正

279 正

280 正

281 正

282 正

283 正

284 正

285 正

286 正

287 正

288 正

289 正

290 正

291 正

292 正

293 正

294 正

295 正

296 正

297 正

298 正

299 正

300 正

301 正

302 正

303 正

304 正

305 正

306 正

307 正

308 正

309 正

310 正

311 正

312 正

313 正

314 正

315 正

316 正

317 正

318 正

319 正

320 正

321 正

322 正

323 正

324 正

325 正

326 正

327 正

328 正

329 正

330 正

331 正

332 正

333 正

334 正

335 正

336 正

337 正

338 正

339 正

340 正

341 正

342 正

343 正

344 正

345 正

346 正

347 正

348 正

349 正

350 正

351 正

352 正

353 正

354 正

355 正

356 正

357 正

358 正

359 正

360 正

361 正

362 正

363 正

364 正

365 正

366 正

367 正

368 正

369 正

370 正

371 正

372 正

373 正

374 正

375 正

376 正

377 正

378 正

379 正

380 正

381 正

382 正

383 正

384 正

385 正

386 正

387 正

388 正

389 正

390 正

391 正

392 正

393 正

394 正

395 正

396 正

397 正

398 正

399 正



設計に緑を